

Saitama Association of Radiological Technologists

# RADIOLOGICAL SAITAMA

2022  
no. 4



## CONTENTS

### 特集

- 「Hybrid ER Systemの使用経験」～IVR-CT導入から運用まで～

### 技術解説

- 「AIを用いた画像再構成技術」～AIR™ Recon, AIR™ Recon DL～



公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会

Saitama Association of Radiological Technologists

HP <https://www.sart.jp> E-mail [sart@beige.ocn.ne.jp](mailto:sart@beige.ocn.ne.jp)

# RADIOLOGICAL SAITAMA

Saitama Association of Radiological Technologists

2022/10 october  
vol.70 no. 4

## CONTENTS

### 特集

「Hybrid ER Systemの使用経験」  
～IVR-CT導入から運用まで～ ……池野 裕太 … 33

### 技術解説

「AIを用いた画像再構成技術」  
～AIR™ Recon, AIR™ Recon DL～  
……………吉野 要 … 39

### 巻頭言

リーダーシップとフォロワーシップ  
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会  
会長 田中 宏…………… 1

### 会告

(公社)日本診療放射線技師会永年勤続表彰候補者  
推薦について…………… 2  
第36回埼玉県診療放射線技師学術大会の開催案内および  
参加登録について…………… 3  
2022年度 第7回 DR計測セミナー…………… 5  
2022年度 第13回CT認定講習会のお知らせ…………… 7  
2022年度 第20回胸部認定講習会Webのお知らせ…………… 9  
乳腺セミナー開催のお知らせ…………… 11  
2022年度 救急撮影ケーススタディ Web開催のお知らせ…………… 13  
2022年度 第20回上部消化管検査認定講習会  
開催のお知らせ…………… 15  
放射線被ばくに関する講習会のご案内…………… 17  
2022年度 第4回SART被ばく相談事例検討会…………… 19  
2022年度 MRI基礎講習会(Web)のお知らせ  
～専門技術者認定試験から学ぶMRIの基本知識～…………… 21  
告示研修(美技研修)開催のお知らせ…………… 23

### お知らせ

埼玉県診療放射線技師会  
電子ブックシステムのお知らせ…………… 26  
(公社)埼玉県臨床検査技師会主催の講習会を  
診療放射線技師が会員価格で受講ができます。…………… 27  
埼玉県診療放射線技師会 メールマガジンのご案内…………… 28  
賛助会員さまへのお知らせ…………… 29  
「メディカルオンライン学会誌無料閲覧サービスについて」…………… 31

### 本会の動き

第6回 SART学術ナイトセミナー  
～CT・MR Angiographyのワンポイントアドバイス～  
開催報告…………… 43

### 各支部掲示板

第六支部…………… 44

### 求人コーナー

求人コーナー…………… 45  
求人広告掲載申し込みFAX用紙…………… 46

### 議事録

2022年度 第1回理事会議事録(抄)…………… 47  
2022年度 第2回理事会議事録(抄)…………… 53  
2022年度 第3回理事会議事録(抄)…………… 57

### 役員名簿

2021・2022年度役員名簿…………… 62  
正会員入会申込書…………… 64  
退会届…………… 66  
FAX申し込み…………… 67  
年間スケジュール…………… 68  
編集後記



## リーダーシップとフォロワーシップ

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会  
会長 田中 宏



放射線部門・担当モダリティ・クラブチーム・自治会・家族・さまざまな場面で「リーダーシップ」の重要性がうたわれており、多くの啓発本やセミナーでも論じられています。そして、そのリーダーのこれまでの経験から自分の置かれたポジションでのリーダーシップ論を作り上げます。

しかしながら、実は「リーダーシップ」と同様「フォロワーシップ」も同じくらい大切なのです。

例えば大企業の社長やグループ企業の社長も組織の最上位ではなく、さらに上司に会長や会社オーナー、いわゆる株主が存在することがよくあります。社長といえども、いわゆる中間管理職となります。歴史上では、各地のお殿様と言われた大名藩主も中間管理職なのです。さらには、以前、私の知り合いのグループ病院の病院長が、「病院長といえども中間管理職なんだよ」と言っていたことを記憶しています。私たち診療放射線技師にとって、上位とされるリーダー格は技師長や部長・事務長、そしてまれに副病院長というポストになります。

ときに、上司と対立することは、いかにも武勇伝風ぼく聞こえ、リーダーシップを発揮しているかのように見えるのですが、それでは自分の組織を良くすることはできませんし、組織として成果を上げることが難しくなります。リーダーシップを発揮し自分の組織を良くしようと

思えば、まずは上司に理解してもらうことが必要なのです。つまり、より良いリーダーシップを発揮するならば、より良いフォロワーシップを身に付けることが大切です。さらには、より良いリーダーシップを発揮し成果を上げることも上司に対してより良いフォロワーシップになるわけです。

しかし、リーダーシップの方が大切というポジションがあります。それは起業家です。起業家は組織をゼロから作り上げるわけですから、フォロワーシップよりもリーダーシップが大切になるわけです。そう考えると世の中の大半の人は、リーダーシップだけでなく、フォロワーシップも求められるのです。

では、フォロワーシップとはどのようなものなのでしょう。「チームの成果を最大とするために、自律的・主体的にリーダーを支援すること」とされています。リーダーも人間ですから、得手不得手があります。不得意分野をフォローすることで、チームを成功裏に導きます。結果、自分の組織も良くなり、それが自分のリーダーシップにもつながっていくわけです。

懸命にリーダーシップを取っているものの、組織がギクシャクするときはフォロワーシップを見直してみるのもいかがでしょうか。もしかしたら組織の人間関係がさらに良くなり、さらに良いリーダーシップを発揮できるかもしれません。



## (公社)日本診療放射線技師会永年勤続表彰候補者 推薦について

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会  
会長 田中 宏

(公社)日本診療放射線技師会から表彰規程第11条により、表記の表彰者候補を推薦するよう通知がありました。つきましては、下記事項に該当する会員で提出書類様式がお手元に届いていない方は早急にご連絡いただきますようよろしくお願い致します。

### 記

- 永年勤続30年
  - ◇ 令和4年(2022年)3月31日現在において、放射線業務に従事して勤続30年になる者(診療エックス線技師免許証、診療放射線技師免許証取得が平成5年(1993年)3月31日以前の者)
  - ◇ 平成19年(2007年)3月31日までに入会して引き続き本会の会員であること
  - ◇ 表彰される年度までの会費完納者であること
  
- 永年勤続50年
  - ◇ 勤続30年表彰を受けたもので、さらに会員として20年以上在籍し、会費を完納したものの
  - ◇ 生年月日が昭和27年(1952年)3月31日以前(満70歳以上)の会員
  - ◇ 過去において同じ表彰を受けたことのない者
    - \* (公社)日本診療放射線技師会30年表彰を受けていることの確認が必要となります。
  
- 提出書類
 

履歴書(公益社団法人 日本診療放射線技師会指定書式のため、ご連絡を頂いた方へは郵送致します。また下記のURLよりダウンロード可能です。)

<http://www.jart.jp/profile/youshiki.html>
  
- 提出期限
 

令和4年11月1日(火) 必着
  
- 提出先
 

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-51-39  
公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会  
TEL: 048-664-2728

#### お問い合わせ先

総務担当 八木沢英樹 (JCHO 東京蒲田医療センター)  
e-mail: h-yagisawa@sart.jp



## 第36回埼玉県診療放射線技師学会の開催案内 および参加登録について

大会長 田中 宏  
実行委員長 城處 洋輔

第36回埼玉県診療放射線技師学会を下記日時に開催します。大会テーマは「診療放射線技師の次なるステージを目指して」です。これからの診療放射線技師の在り方を考える大会になればと思い、このようなテーマとしました。開催方式に関しては、ソニックシティでの会場およびWeb配信のハイブリッド形式となります。参加していただく皆さまに満足していただけるような魅力ある学会大会を開催できるよう、学術委員を中心に日々準備を進めてまいりますので、皆さまの参加を心よりお待ちしております。

### 記

- 日 時：2023年3月5日（日）
- 会 場：大宮ソニックシティ（国際会議室、市民ホール）  
〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5  
※新型コロナウイルスの感染状況によって、完全オンライン形式に変更する可能性があります。
- 参 加 費：会員2,000 円、非会員3,000 円、賛助会員2,000 円、学生無料  
※埼玉県診療放射線技師会の会員以外であっても、日本診療放射線技師会もしくは各都道府県の診療放射線技師会の会員であれば会員とします。
- 内 容：一般演題・大会講演・特別講演・学術委員会企画など
- 演題登録：募集期間は、2022年10月11日（火）～11月20日（日）までを予定しております。  
本会HPの演題登録フォームからお申し込みください。
- 参加登録：2023年1月13日（金）～2023年2月17日（金）  
本会HPの参加申し込みフォームからお申し込みください。  
参加登録および参加登録費の入金を確認し、ご登録いただいたメールアドレスへ参加方法をご案内致します。
- 支払方法：参加登録費は銀行振込またはPayPayで先払いとなります。  
振込先口座およびPayPay支払方法は、申し込み後の返信メールにてお伝えします。  
なおPayPayの場合、申込登録手順が3段階となります。  
振込手数料は受講者をご負担ください。
- 支払期限：2023年2月20日（月）  
ご入金・申し込みフォーマットへの登録は、期間内に完了するようにお申し込みください。  
2月21日以降にご入金があった場合には、参加および返金には応じられません。

領収書の発行

1. 銀行振り込みの場合

各金融機関の日附印入り受領書、ATM利用明細書などをご使用ください。

2. ネットバンキングを利用した場合

振り込み内容詳細などをご自身で印刷してください。印刷方法は各金融機関HPをご参照ください。

3. PayPayの場合

自動返信メールの内容をご確認ください。

参加費の注意事項

- ・参加キャンセルに対する返金はありません。
- ・入金額が参加登録費に満たない場合、参加方法を記載したメールは配信されません。

連 絡 先：公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会

TEL：048-664-2728 FAX：048-664-2733

問い合わせ：済生会川口総合病院 城處 洋輔 e-mail：y-kidokoro@sart.jp



## 2022年度 第7回 DR計測セミナー

主催 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

埼玉県診療放射線技師会主催のDR計測セミナーは、本来ならば実習を主体としてセミナーを行っていましたが、COVID-19の感染拡大の観点から今年度もWeb（Zoom）を用いたオンライン講習会を企画致しました。第7回は、DRにおける画質評価法と臨床画像への活用として、解像度特性、ノイズ特性の解析をテーマとし、第1部は概論、第2部は実際のデータ取得から解析までの実演、得られたデータを実臨床へどのように生かすかを含めた内容となっております。ぜひ、多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

### プログラム（敬称略）

19：00～ 開会あいさつ・オリエンテーション 総合司会：滝口 泰徳

#### 第1部

19：05～20：00 解像度特性とノイズ特性の基本  
講師：上尾中央総合病院 樋口 誠一

#### 第2部

20：00～21：00 MTFとNPSの解析の実際 講師：済生会川口総合病院 戸澤 僚太

### 記

日 時：2022年11月11日（金）

参加費：会 員：500円

非 会 員：1,000円

非会員の扱いは、埼玉県診療放射線技師会の会員以外であっても、日本診療放射線技師会か都道府県放射線技師会の会員であれば会員とみなします。

定 員：40人（先着申込み順）

申込期間：2022年9月15日（木）～2022年11月1日（火）

登録方法：本会のセミナー申し込みフォーマットにご入力ください。

参加登録及び参加登録費の入金を確認し、開催2日前までにご登録いただいたメールアドレスへ参加方法をご案内致します。

支払方法：参加登録費は銀行振込またはPayPayで先払いとなります。

振込先口座およびPayPay支払方法は、申し込み後の返信メールにてお伝えします。

なおPayPayの場合、申込登録手順が3段階となります。

振込手数料は受講者をご負担ください。

**ご入金・申し込みフォーマットへの登録は、申込期間内に完了してください。**

**万が一、11月2日以降にご入金があった場合にも、参加および返金には応じられません。**

### 領収書の発行

#### 1. 銀行振り込みの場合

各金融機関の日附印入り受領書、ATM利用明細書などをご使用ください。

#### 2. ネットバンキングを利用した場合

振り込み内容詳細などをご自身で印刷してください。印刷方法は各金融機関HPをご参照ください。

#### 3. PayPayの場合

自動返信メールの内容をご確認ください。

### 参加費の注意事項

- ・参加キャンセルに対する返金はいりません。
- ・入金額が参加登録費に満たない場合、参加方法を記載したメールは配信されません。
- ・過払いの場合、過払い分から事務手数料500円を差し引いた額をご指定の銀行口座へ振り込みます。

連 絡 先：公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会

TEL：048-664-2728 FAX：048-664-2733

問い合わせ：済生会川口総合病院 戸澤 僚太 e-mail：ryouta-tozawa@sart.jp

以上



## 2022年度 第13回 CT 認定講習会のお知らせ

主催 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

第13回CT認定講習会は、昨年度同様にオンラインで開催致します。オンライン開催においても、本講習会の目的は、CT検査に関する基礎技術習得とし、各部位における撮影・読影法の講義や、物理特性講義・測定実習を行います。また、認定試験も昨年度同様にオンライン開催致しますので、埼玉県内の会員や他県の方もぜひご参加ください。

### CT認定講習会 プログラム

8：25～ 8：30	オリエンテーション		
8：30～ 9：30	頭頸部CTの撮影法、読影講義	富田 博信	済生会川口総合病院
9：30～10：30	腹部CTの撮影法、読影講義	八木沢英樹	JCHO東京蒲田医療センター
10：40～11：40	救急CTの撮影法、読影講義	寺澤 和晶	さいたま赤十字病院
11：40～12：40	造影技術概論	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター
13：40～14：40	胸部CTの撮影法、読影講義	染野 智弘	羽生総合病院
14：40～15：40	物理特性講義	城處 洋輔	済生会川口総合病院
15：40～18：00	実習 MTF、SSPz、NPS	城處 洋輔	済生会川口総合病院
		中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター

#### 注意事項

- ・認定試験受講に際し、講習会参加は必須要件です。講義時はPCのビデオはonを必須とします。
- ・物理特性受講者は、ノートPCを持参してください。
- ・ノートPCには、事前にimageJのインストールとExcelに分析ツールを入れておいてください。
- ・Excelの作業がありますので、マウスの持参をお勧めします。

日 時：2022年11月20日（日）

：実習の進捗状況によって予備日を設けています。予備日の開催有無は当日お知らせします。

場 所：ZoomによるWeb開催

参 加 費：埼放技、日放技もしくは地域技師会会員 3,000円（試験料含む）

非会員 6,000円（試験料含む）

物理特性講義・実習のみ（部位別及び造影講義のみ）受講の場合は、

埼放技、日放技もしくは地域技師会会員 2,000円

非会員 4,000円

定 員：100人程度

参加登録期間：2022年10月13日（木）～2022年11月13日（日）

登録方法：本会のセミナー申し込みフォーマットにご入力ください。

参加内容と参加登録費の入金を確認し、開催2日前までにご登録いただいたメールアドレスへ受講情報を送付致します。

支払方法：参加登録費は銀行振込またはPayPayで先払いとなります。

振込先口座およびPayPay支払方法は、申し込み後の返信メールにてお伝えします。  
なおPayPayの場合、申込登録手順が3段階となります。

振込手数料は受講者をご負担ください。

ご入金・申し込みフォーマットへの登録は、申込期間内に完了してください。

**万が一、11月14日以降にご入金があった場合にも、参加および返金には応じられません。**

#### 領収書の発行

##### 1. 銀行振り込みの場合

各金融機関の日附印入り受領書、ATM利用明細書等をご使用ください。

##### 2. ネットバンキングを利用した場合

振り込み内容詳細等をご自身で印刷してください。印刷方法は各金融機関HPをご参照ください。

##### 3. PayPayの場合

自動返信メールの内容をご確認ください。

#### 参加費の注意事項

- ・参加キャンセルに対する返金はいりません。
- ・入金額が参加登録費に満たない場合、参加方法を記載したメールは配信されません。
- ・過払いの場合、過払い分から事務手数料500円を差し引いた額をご指定の銀行口座へ振り込みます。

連 絡 先：公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会

Tel：048-664-2728 FAX：048-664-2733

問い合わせ：埼玉医科大学総合医療センター 中根 淳 e-mail：j-nakane@sart.jp



## 2022年度 第20回胸部認定講習会 Webのお知らせ

主催 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

今年度も胸部認定講習会を企画致しました。第20回を迎える本講習会は、撮影の基礎から胸部の解剖・臨床まで幅広い内容を構成しております。新人の方ももちろん、ベテランの方もご参加いただければ幸いです。お忙しいとは存じますが、奮ってご参加ください。認定試験の日程や詳細につきましては別途ご案内致します。

### プログラム (敬称略)

9:00～	オリエンテーション	
9:10～10:10	胸部単純写真の撮影法	滝口 泰徳 (JCHO 船橋中央病院)
10:10～11:10	装置の基礎	曾根 達也 (東川口病院)
11:10～11:20	休憩	
11:20～12:20	胸部のCT診断	笹原 重治 (上尾中央総合病院)
12:20～13:20	昼休み	
13:20～14:20	胸部単純撮影の適正線量と被ばく	森 一也 (済生会川口総合病院)
14:20～15:20	胸部撮影における画像処理について	戸澤 僚太 (済生会川口総合病院)
15:20～15:30	休憩	
15:30～17:00	胸部単純画像の読影法	佐々木 健 (上尾中央総合病院)
17:00～	試験案内	

### 注意事項

認定試験受講に際し、講習会の参加は必須です。講義時はPCのビデオはonを必須とします。

日 時：2022年11月27日 (日)

認定試験は2023年1月15日 (日) 15時からWeb形式で行います。詳細は別途ご案内致します。

場 所：ZoomによるWeb開催

参加費：埼放技、日放技もしくは地域技師会会員 3,000円 (試験料含む)  
非会員 6,000円 (試験料含む)

定 員：70人程度

参加登録期間：2022年10月11日 (火) ～2022年11月14日 (月)

登録方法：本会のセミナー申し込みフォーマットにご入力ください。

参加内容と参加登録費の入金を確認し、開催2日前までにご登録いただいたメールアドレスへ受講情報を送付致します。

支払方法：参加登録費は銀行振込またはPayPayで先払いとなります。

振込先口座およびPayPay支払方法は、申し込み後の返信メールにてお伝えします。

なおPayPayの場合、申込登録手順が3段階となります。

振込手数料は受講者をご負担ください。

**ご入金・申し込みフォーマットへの登録は、申込期間内に完了してください。**

**万が一、11月15日以降にご入金があった場合にも、参加および返金には応じられません。**

#### 領収書の発行

##### 1. 銀行振り込みの場合

各金融機関の日附印入り受領書、ATM利用明細書などをご使用ください。

##### 2. ネットバンキングを利用した場合

振り込み内容詳細などをご自身で印刷してください。印刷方法は各金融機関HPをご参照ください。

##### 3. PayPayの場合

自動返信メールの内容をご確認ください。

#### 参加費の注意事項

- ・参加キャンセルに対する返金はいりません。
- ・入金額が参加登録費に満たない場合、参加方法を記載したメールは配信されません。
- ・過払いの場合、過払い分から事務手数料500円を差し引いた額をご指定の銀行口座へ振り込みます。

連絡先：公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会

TEL：048-664-2728 FAX：048-664-2733

問い合わせ：JCHO 船橋中央病院 滝口 泰徳 e-mail：y-takiguchi@sart.jp

## 乳腺セミナー開催のお知らせ

主催 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

乳がんは、がんの中で日本人女性がかかる罹患率が第1位であり、年々増加傾向にあります。早期乳がんを見逃さないためにもより良い画像提供と読影力が重要となります。

今回の講習会では、マンモグラフィの標準撮影法と読影法の基礎から追加撮影法まで学べる内容となっております。これから乳腺について学ぶ方からベテランの方まで、多くの方のご参加をお待ちしております。

本講習会は、新型コロナウイルス感染拡大の観点から、オンライン開催です。

### 記

プログラム (敬称略)

9:00~10:00	マンモグラフィの標準撮影法	埼玉協同病院	佐藤夏都美
10:00~11:00	マンモグラフィの追加撮影法	熊谷生協病院	新島 正美
11:10~12:10	マンモグラフィの読影法	熊谷総合病院	亀山 枝里

日 時：2023年1月15日 (日)

参加費：会員：2,000円・非会員：4,000円

非会員の扱いは、埼玉県診療放射線技師会の会員以外であっても、日本診療放射線技師会か都道府県放射線技師会の会員であれば会員とみなします。

定 員：50人程度

申込期間：2022年12月4日 (日) ~ 2023年1月4日 (水)

登録方法：本会のセミナー申し込みフォーマットにご入力ください。

参加内容と参加登録費の入金を確認し、開催2日前までにご登録いただいたメールアドレスへ受講情報を送付致します。

支払方法：**参加登録費は銀行振込またはPayPayで先払いとなります。**

振込先口座およびPayPay支払方法は、申し込み後の返信メールにてお伝えします。なおPayPayの場合、申込登録手順が3段階となります。

振込手数料は受講者をご負担ください。

**ご入金・申し込みフォーマットへの登録は、期間内に完了するようにお申し込みください。**

**万が一、1月5日以降にご入金があった場合にも、参加および返金には応じられません。**

領収書の発行

1. 銀行振り込みの場合

各金融機関の日附印入り受領書、ATM利用明細書などをご使用ください。

2. ネットバンキングを利用した場合

振り込み内容詳細などをご自身で印刷してください。印刷方法は各金融機関HPをご参照ください。

3. PayPayの場合

自動返信メールの内容をご確認ください。

参加費の注意事項

- ・参加キャンセルに対する返金はありません。
- ・入金額が参加登録費に満たない場合、参加方法を記載したメールは配信されません。
- ・過払いの場合、過払い分から事務手数料500円を差し引いた額をご指定の銀行口座へ振り込みます。

連 絡 先：公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会

TEL：048-664-2728 FAX：048-664-2733

問い合わせ：熊谷総合病院 亀山 枝里 e-mail：eri-kameyama@sart.jp



## 2022年度 救急撮影ケーススタディ Web開催 のお知らせ

主催 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

埼玉県診療放射線技師会では救急撮影ケーススタディとして、「1つの疾患に対して、身体所見、生理検査から総合的に画像検査を捉える」ことを目的にグループワークを含む講習会を行ってまいりました。今年度もWeb開催ではありますが、Zoomのブレイクルーム機能を用い、グループワークをメインとした講習会を企画致しました。救急診療では早期に原因疾患を究明することは重要となります。夜間や休日など専門医の少ない状況での救急診療では診療放射線技師に意見を求められることもあり、見逃してしまうと命に係わる疾患も多くあります。今回は、絶対に見逃してはいけない救急疾患をテーマと致しました。ぜひ、多くの方の参加をお待ちしております。

### 記

プログラム (敬称略)

19:00~20:00	頭頸部領域の疾患	埼玉石心会病院	岡本 拓己
20:00~21:00	胸部領域の疾患	上尾中央総合病院	橋川 友二
			宮本 桃子
グループワークファシリテータ		上尾中央総合病院	佐々木 健
		埼玉石心会病院	伊藤 寿哉
		埼玉医科大学総合医療センター	大根田 純
		JCHO 船橋中央病院	滝口 泰徳

### 注意事項

グループワークを行いますのでPCのビデオはon、発言時はマイクを使用できる環境を必須とします。

日 時：2023年1月20日 (金)

参加費：会 員：500円

非会員：1,000円

非会員の扱いは、埼玉県診療放射線技師会の会員以外であっても、日本診療放射線技師会か都道府県放射線技師会の会員であれば会員とみなします。

定 員：40人 (先着申込み順)

申込期間：2022年12月9日 (金) ~ 2023年1月6日 (金)

登録方法：本会のセミナー申し込みフォーマットにご入力ください。

参加内容と参加登録費の入金を確認し、開催2日前までにご登録いただいたメールアドレスへ受講情報を送付致します。

支払方法：参加登録費は銀行振込またはPayPayで先払いとなります。

振込先口座およびPayPay支払方法は、申し込み後の返信メールにてお伝えします。

なおPayPayの場合、申込登録手順が3段階となります。

振込手数料は受講者をご負担ください。

**ご入金・申し込みフォーマットへの登録は、申込期間内に完了してください。**

**万が一、1月7日以降にご入金があった場合にも、参加および返金には応じられません。**

#### 領収書の発行

##### 1. 銀行振り込みの場合

各金融機関の日附印入り受領書、ATM利用明細書などをご使用ください。

##### 2. ネットバンキングを利用した場合

振り込み内容詳細などをご自身で印刷してください。印刷方法は各金融機関HPをご参照ください。

##### 3. PayPayの場合

自動返信メールの内容をご確認ください。

#### 参加費の注意事項

- ・参加キャンセルに対する返金はいりません。
- ・入金額が参加登録費に満たない場合、参加方法を記載したメールは配信されません。
- ・過払いの場合、過払い分から事務手数料500円を差し引いた額をご指定の銀行口座へ振り込みます。

連 絡 先：公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会

TEL：048-664-2728 FAX：048-664-2733

問い合わせ：JCHO 船橋中央病院 滝口 泰徳 e-mail：y-takiguchi@sart.jp

## 2022年度 第20回上部消化管検査認定講習会 開催のお知らせ

主催 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会  
共催 埼玉消化管撮影研究会

2021年度は新型コロナウイルスの感染拡大の観点から、上部消化管検査認定講習会および認定試験をオンライン形式で開催致しました。今年度もオンライン形式で上部消化管検査認定講習会を開催する運びとなりました。基礎から応用技術まで幅広く内容を構成しておりますので、初心者の方ばかりでなく、ベテランの方も奮ってお申し込みいただきますよう、よろしくお願い致します。多くの方の受講をお待ちしております。

### プログラム（敬称略）

日 時	2023年1月22日（日）	
会 場	Zoomを利用したオンライン講習	
8：20～	入室開始	
8：30～ 9：30	X線透視装置の基礎：画質：性能評価	浅見 純一（行田中央総合病院）
9：40～10：40	被ばく管理	志田 智樹（丸山記念総合病院）
10：50～11：50	受診者管理（造影剤・検査説明・接遇・情報管理）	伊藤 寿哉（埼玉石心会病院）
11：50～12：50	昼休み	
12：50～13：50	上部消化管撮影技術	池田 圭介（済生会川口総合病院）
14：00～15：00	上部消化管検査に必要な病理	今出 克利（大宮医師会）
15：10～16：10	上部消化管検査に必要な読影	今出 克利（大宮医師会）
16：20～17：20	精密検査法とレポート作成	大森 正司（さいたま赤十字病院）
17：20～	認定試験のご案内	

※認定試験は2023年2月5日（日）14時からオンライン形式で開催致します。  
詳細は別途ご案内致します。

受講料：会員 3,000円 非会員 6,000円

※非会員の扱いは、埼玉県診療放射線技師会の会員以外であっても、日本診療放射線技師会か都道府県放射線技師会の会員であれば会員とみなします。

定 員：70人まで

申込期間：2022年12月12日（月）～ 2023年1月8日（日）まで

登録方法：本会のセミナー申し込みフォーマットにご入力ください。  
参加内容と参加登録費の入金を確認し、開催2日前までにご登録いただいたメールアドレスへ受講情報を送付致します。

支払方法：参加登録費は銀行振込またはPayPayで先払いとなります。  
振込先口座およびPayPay支払方法は、申し込み後の返信メールにてお伝えします。  
なおPayPayの場合、申込登録手順が3段階となります。  
振込手数料は受講者をご負担ください。  
**ご入金・申し込みフォーマットへの登録は、期間内に完了するようにお申し込みください。**

#### 領収書の発行

##### 1. 銀行振り込みの場合

各金融機関の日附印入り受領書、ATM利用明細書などをご使用ください。

##### 2. ネットバンキングを利用した場合

振り込み内容詳細などをご自身で印刷してください。印刷方法は各金融機関HPをご参照ください。

##### 3. PayPayの場合

自動返信メールの内容をご確認ください。

#### 注意事項

- ・参加キャンセルに対する返金はありません。
- ・入金額が参加登録費に満たない場合、参加方法を記載したメールは配信されません。
- ・過払いの場合、過払い分から事務手数料500円を差し引いた額をご指定の銀行口座へ振り込みます。

**※本講義は、SARTの認定講習会であり、講義時は参加者PCのビデオはonを必須としますので、あらかじめご了承ください。**

連絡先：公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

TEL：048-664-2728 FAX：048-664-2733

問い合わせ：行田中央総合病院 浅見 純一 e-mail：jyunichi-asami@sart.jp

以上



## 放射線被ばくに関する講習会のご案内

主催 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

埼玉県診療放射線技師会では、会員の皆さまに「放射線被ばくに関する知識をアップグレードしよう」という趣旨の講習会を下記の通り企画致しました。昨今の医療法などの改正で放射線被ばくの管理が厳格化されてきている中、診療放射線技師も被ばくに関する知識を正しく理解し、身につけておく必要があります。この講習会では、被ばくに関する知識をアップデートしたい方はもちろんのこと、1から学び直したい方、被ばく相談をされていて悩んでいる方など、さまざまな方に受講していただけたらと思います。皆さまのご参加をお待ちしております。

### 記

#### プログラム

- |                                |                    |
|--------------------------------|--------------------|
|                                | 総司会 埼玉医科大学病院 紀陸 剛志 |
| 1 放射線被ばくに関する基礎知識 (19:00~19:30) |                    |
|                                | 上尾中央総合病院 嶋崎 恭介     |
| 2 放射線被ばくとがん (19:30~20:00)      |                    |
|                                | さいたま赤十字病院 大河原侑司    |
| 3 放射線被ばくと遺伝的影響 (20:00~20:30)   |                    |
|                                | 済生会川口総合病院 志藤 正和    |

日 時：2023年1月25日（水） 19：00～20：40

場 所：ZoomによるWeb開催

受講料：会員500円 非会員1,000円

※非会員の扱いは、埼玉県診療放射線技師会の会員以外であっても、日本診療放射線技師会か都道府県放射線技師会の会員であれば会員とみなします。

申込方法：本会ホームページ上の専用フォームよりお申し込みください。

申込期間：2022年 12月 1日（木）～ 2023年1月 10日（火）

※参加内容と参加登録費の入金を確認し、開催2日前までにご登録いただいたメールアドレスへ受講情報を送付致します。

登録方法：本会のセミナー申し込みフォーマットにご入力ください。

参加内容と参加登録費の入金を確認し、開催2日前までにご登録いただいたメールアドレスへ受講情報を送付致します。

支払方法：**参加登録費は銀行振込またはPayPayで先払いとなります。**

振込先口座およびPayPay支払方法は、申し込み後の返信メールにてお伝えします。なおPayPayの場合、申込登録手順が3段階となります。

振込手数料は受講者をご負担ください。

**ご入金・申し込みフォーマットへの登録は、期間内に完了するようにお申し込みください。**

### 領収書の発行

#### 1. 銀行振り込みの場合

各金融機関の日附印入り受領書、ATM利用明細書などをご使用ください。

#### 2. ネットバンキングを利用した場合

振り込み内容詳細などをご自身で印刷してください。印刷方法は各金融機関HPをご参照ください。

#### 3. PayPayの場合

自動返信メールの内容をご確認ください。

### 参加費の注意事項

- ・参加キャンセルに対する返金はありません。
- ・入金額が参加登録費に満たない場合、参加方法を記載したメールは配信されません。
- ・過払いの場合、過払い分から事務手数料500円を差し引いた額をご指定の銀行口座へ振り込みます。

連 絡 先：公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会

TEL：048-664-2728 FAX：048-664-2733

問い合わせ：上尾中央総合病院 放射線技術科 佐々木 健

e-mail：t-sasaki@sart.jp TEL：048-773-3369（放射線技術科直通）

## 2022年度 第4回SART被ばく相談事例検討会

主催 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

昨今、放射線被ばくへの関心が高まったことにより、医療放射線被ばくに関する問い合わせも年々増加し、回答に苦慮する内容も度々あります。そんな現状に対応するために、埼玉県診療放射線技師会では今年度も被ばく相談事例検討会を開催する運びとなりました。今年度はグループワークを行い、活発な意見交換ができるよう、対面形式での開催を予定しております。

また国家資格キャリアコンサルタントのかたがたに相談者さんの気持ちの揺らぎや対応について助言を頂ける機会も用意致しました。

日頃、診療に携わる中で被ばく相談を受けたことがある方、相談をされた時になんて答えようか不安がある方、被ばく相談に上手く対応できなかった経験をお持ちの方、どんな方でも一緒に被ばく相談に向き合ってみませんか。ご参加をお待ちしております。

なお、1月25日に開催予定の「放射線被ばくに関する講習会」では被ばくについての基礎知識を学ぶことができます。予備知識として参加をお勧め致します。

### 記

プログラム (敬称略)

(1) 相談者の本音を引き出す！回答力アップのコツ 【15:00～16:00】

SART 公益委員 石田 仁子  
SART 公益委員 内海 将人  
SART 公益委員 宮崎 千晶

(2) 被ばく相談事例検討会 (グループワーク) 【16:00～18:00】

グループワークファシリテーター SART 公益委員  
アドバイザー 国家資格キャリアコンサルタント 小林 京子  
国家資格キャリアコンサルタント 塚本 悠基

日 時：2023年2月18日 (土) 15:00～18:00

会 場：大宮ソニックシティ (会場は変更になる可能性があります)

参 加 費：会 員：1,000円

非会員：2,000円

非会員の扱いは、埼玉県診療放射線技師会の会員以外であっても、日本診療放射線技師会か都道府県放射線技師会の会員であれば会員とみなします。

定 員：30人 (先着申込み順)

申込期間：2022年12月2日 (金)～2023年2月4日 (土)

登録方法：本会のセミナー申し込みフォーマットにご入力ください。

参加内容と参加登録費の入金を確認し、開催2日前までにご登録いただいたメールアドレスへ受講情報を送付致します。

支払方法：参加登録費は銀行振込またはPayPayで先払いとなります。

振込先口座およびPayPay支払方法は、申し込み後の返信メールにてお伝えします。

なおPayPayの場合、申込登録手順が3段階となります。

振込手数料は受講者をご負担ください。

**ご入金・申し込みフォーマットへの登録は、期間内に完了するようにお申し込みください。**

#### 領収書の発行

1. 銀行振り込みの場合

各金融機関の日附印入り受領書、ATM利用明細書などをご使用ください。

2. ネットバンキングを利用した場合

振り込み内容詳細などをご自身で印刷してください。印刷方法は各金融機関HPをご参照ください。

3. PayPayの場合

自動返信メールの内容をご確認ください。

#### 参加費の注意事項

- ・参加キャンセルに対する返金はいりません。
- ・入金額が参加登録費に満たない場合、参加方法を記載したメールは配信されません。
- ・過払いの場合、過払い分から事務手数料500円を差し引いた額をご指定の銀行口座へ振り込みます。

連 絡 先：公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会

Tel 048-664-2728 FAX 048-664-2733

問い合わせ：上尾中央総合病院 放射線技術科 佐々木 健

e-mail：t-sasaki@sart.jp TEL：048-773-3369（放射線技術科直通）



## 2022年度 MRI基礎講習会(Web)のお知らせ ～専門技術者認定試験から学ぶMRIの基本知識～

主催 公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会  
共催 SAITAMA MRI Conference(SMC)

近年MRIの進歩に伴い基礎知識の必要性がますます重要になっています。「専門技術者認定試験から学ぶMRIの基本知識」として、認定試験問題から抜粋しセミナーを行ってきました。受験資格で必要となる装置の精度管理レポート、試験問題（性能評価項目）を中心とした解説をWeb（Zoomを利用）にて企画致しました。専門技師を目指そうとしている方のみならず、MRI業務に従事して間もない方まで多くの方の参加をお待ち申し上げます。

### プログラム

日 時：2023年3月25日（土）  
13：00～ 入室開始  
13：30～14：30 装置性能評価解説（評価項目、レポート作成について）  
14：40～15：40 実験の進め方について  
15：50～16：50 試験問題解説（性能評価項目関連）

受講料：2,000円 ※非会員4,000円  
※非会員の扱いは、埼玉県診療放射線技師会の会員以外であっても、日本放射線技師会か都道府県放射線技師会の会員であれば会員とみなします。

定 員：70人程度

申込期間：2023年2月18日（土）～2023年3月18日（土）

登録方法：本会のセミナー申し込みフォーマットにご入力ください。  
参加内容と参加登録費の入金を確認し、開催2日前までにご登録いただいたメールアドレスへ受講情報を送付いたします。

支払方法：**参加登録費は銀行振込またはPayPayで先払いとなります。**  
振込先口座およびPayPay支払方法は、申し込み後の返信メールにてお伝えします。  
なおPayPayの場合、申込登録手順が3段階となります。  
振込手数料は受講者をご負担ください。  
**ご入金・申し込みフォーマットへの登録は、期間内に完了するようにお申し込みください。**万が一、3月19日以降にご入金があった場合にも、参加および返金には応じられません。

### 領収書の発行

1. 銀行振り込みの場合  
各金融機関の日附印入り受領書、ATM利用明細書等をご使用ください。
2. ネットバンキングを利用した場合  
振り込み内容詳細等をご自身で印刷してください。印刷方法は各金融機関HP をご参照ください。

### 3. PayPayの場合

自動返信メールの内容をご確認ください。

#### 注意事項

- ・参加キャンセルに対する返金はありません。
- ・入金額が参加登録費に満たない場合、参加方法を記載したメールは配信されません。
- ・過払いの場合、過払い分から事務手数料500円を差し引いた額をご指定の銀行口座へ振り込みます。

連 絡 先：公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会

TEL：048-664-2728 FAX：048-664-2733

問い合わせ：埼玉医科大学病院 近藤 敦之 e-mail：a-kondo@sart.jp

## 告示研修(実技研修)開催のお知らせ

主催 公益社団法人日本診療放射線技師会  
後援 厚生労働省

令和3年7月9日医政発0709第7号「臨床検査技師等に関する法律施行令の一部を改正する政令等の公布について」が厚生労働省医政局長より発出され、業務範囲の見直しが行われました。これに伴い、令和6年4月1日前に診療放射線技師の免許を受けた者および同日前に診療放射線技師国家試験に合格した者であって、同日以降に診療放射線技師の免許を受けた者が追加された行為を行おうとするときは、あらかじめ、本研修を受講することが義務付けられています。

つきましては、埼玉県における本年度第2～4回告示研修(実技研修)の日程が確定しましたので、下記のとおりお知らせ致します。診療放射線技師の資質向上と医療安全の確保のためにも本研修の参加をお願い申し上げます。

### 記

開催日、会場：第2回 2022年11月26日(土) 県民活動総合センター 307セミナー室  
第3回 2023年 1月22日(日) 済生会川口総合病院 東館B1講堂  
第4回 2023年 2月26日(日) 日本医療科学大学

定 員：48人

受講料：会員 10,000円、非会員 20,000円

申込方法：JART情報システムよりお申込みください。

※会員・非会員に関わらず、JART情報システムの利用登録が必要です。

※本講習を受講するためにはあらかじめ基礎研修(オンデマンド)の受講が必要です。

※詳細はJARTホームページにてご確認ください。

申込開始：第2回 2022年10月15日(土)～2022年11月12日(土) ※優先予約10月 8日(土)～

第3回 2022年12月 4日(日)～2023年 1月 8日(日) ※優先予約11月27日(日)～

第4回 2023年 1月15日(日)～2023年 2月12日(日) ※優先予約 1月 8日(日)～

※2015統一講習会受講済の方は、1週間前より優先予約が可能です。

問合せ先：済生会川口総合病院 放射線技術科 城處洋輔

e-mail：y-kidokoro@sart.jp

# 「令和3年厚生労働省告示第273号研修(告示研修)」 埼玉県

## プログラム

開始時刻	グループ1		グループ2		グループ3					
	A	B	C	D	E	F				
8:40	受付									
8:55	オリエンテーション									
9:00	動画の視聴 (210分 ※休憩含む)									
12:30	休憩 (60分)									
13:30	下部実技 (20分)	上部実技 (20分)	動脈実技	動脈実技	静脈実技	静脈実技				
13:40										
13:50										
14:00	上部実技 (20分)	下部実技 (20分)			休憩		休憩			
14:10										
14:20										
14:30	休憩		下部実技	上部実技	静脈 (RI) RI実技	静脈 (CT) 静脈 (echo) 静脈 (他)				
14:40	静脈実技 (40分)	静脈実技 (40分)					上部実技	下部実技	静脈 (CT) 静脈 (echo) 静脈 (他)	静脈 (RI) RI実技
14:50										
15:00										
15:10	休憩		休憩		休憩					
15:20	休憩		静脈実技	静脈実技	動脈実技	動脈実技				
15:30	静脈 (RI) RI実技 (20分)	静脈 (CT) 静脈 (echo) 静脈 (他) (30分)					休憩		休憩	
15:40										
15:50										
16:00	静脈 (CT) 静脈 (echo) 静脈 (他) (30分)	静脈 (RI) RI実技 (30分)	休憩		休憩					
16:10										
16:20										
16:30	休憩		静脈 (RI) RI実技	静脈 (CT) 静脈 (echo) 静脈 (他)	下部実技	上部実技				
16:40	休憩						動脈実技 (40分)	動脈実技 (40分)	上部実技	下部実技
16:50	休憩									
17:00	休憩									
17:10	休憩									
17:20	休憩		閉講式							
17:30	休憩		閉講式							
17:40	休憩		閉講式							
17:50	休憩		閉講式							
18:00	休憩		閉講式							



受講内容

項目	内容
動画の視聴	造影剤を使用した検査や核医学検査のために、静脈路を確保する行為、放射性医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為に関する実際症例等撮影動画（ビデオ）
	核医学検査のために、放射性医薬品を注入するための装置を接続し、当該装置を操作する行為に関する実際症例等撮影動画及び注入機器の取扱い及び注入行為（ビデオ）
	動脈路に造影剤注入装置を接続する行為（動脈路確保のためのものを除く。）、動脈に造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為に関する実際症例等撮影動画及び注入機器の取扱い及び注入行為（ビデオ）
	下部消化管検査（CT コロノグラフィ検査を含む。）のため、注入した造影剤及び空気を吸引する行為に関する実際症例等撮影動画（ビデオ）及びガス注入機器の取扱い及び注入行為（ビデオ）
	上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、当該造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為に関する実際症例等撮影動画（ビデオ）
静脈実技	静脈路確保を確保する行為の実技研修
静脈（CT） 静脈（echo） 静脈（他）	CT及びMRI造影検査手技の実技研修
	超音波造影検査手技の実技研修
	造影剤を使用したその他の検査手技の実技研修
静脈（RI） RI実技	核医学検査手技の実技研修
	放射性医薬品を注入するための装置を接続し、当該装置を操作する行為の実技研修
動脈実技	動脈路に造影剤注入装置を接続する行為の実技研修及び動脈に造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為の実技研修
下部実技	CTコロノグラフィ検査におけるカテーテル挿入に関する行為の実技研修及び下部消化管検査（CT コロノグラフィ検査含む）で注入した造影剤及び空気を吸引する行為の実技研修
上部実技	上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為の実技研修及び造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為の実技研修

## 埼玉県診療放射線技師会 電子ブックシステムのお知らせ

当会では、1954年からの会誌を電子ブック化（e-book）することになりました。  
現在は、2000年まで閲覧できるようになっておりますが、順次拡大していく予定です。  
当会ホームページ内、「埼玉県診療放射線技師会 電子ブックシステム」にアクセス（または下記URL、QRコード）していただき、ログインID・パスワードを入力の上、ご覧いただけます。  
閲覧のためのパスワードは毎年変更する予定となっており、今後、会員の皆さまには会誌でご案内させていただきます。

アクセスURL : <https://e-books.sart.jp/sart/login.html>



2022年用

ログインID : sart\_e-book2022

パスワード : sart\_member2022



ログインはこちらから

ログインIDを入力	→	ユーザー名
パスワードを入力	→	パスワード
		ログイン

## (公社)埼玉県臨床検査技師会主催の講習会を 診療放射線技師が会員価格で受講ができます。

このたび、職能団体のチーム医療を目的として、(公社)埼玉県診療放射線技師会と(公社)埼玉県臨床検査技師会で、お互いが企画する講習会を会員価格で受講することができる取り決めを行いましたのでお知らせ致します。

これまで職能団体の役員同士の交流はありましたが、会員同士の交流の機会はあまりありませんでした。最近では、診療放射線技師が心電図や血液データなどに興味を持ち、臨床検査技師の方が画像に興味を持っていると聞きます。そこでお互いの会員レベルの学術的交流を目的として企画致しました。

今後は、他職種との学術的な交流を深めるきっかけになればと考えております。



## 埼玉県診療放射線技師会 メールマガジンのご案内

当会では、イベントや勉強会情報があるときに、不定期でメールマガジンを配信しております。登録数は徐々に増えてきておりますが、まだまだ少ない状況です。

そこで、今回このようなページを企画致しました。ご覧の皆さまには、ぜひ当会ホームページよりメールマガジンにご登録いただけますようお願い申し上げます（お名前とメールアドレスだけで登録できます）。

以下、No.93 で配信したメールマガジンの例です。多くの皆さまの登録をお待ちしております。

### 【埼放技メールマガジン】No.93

#### ▼編集情報委員会からのお知らせ▼

埼放技メールマガジンのご利用ありがとうございます。

学術案内などの日程を埼玉県診療放射線技師会HPに掲載しております。

<http://www.sart.jp/>

第35回日本診療放射線技師学術大会（埼玉県開催）

開催日：2019年9月14日（土）から16日（月・祝）

会場：大宮ソニックシティ

#### ◆…—【近日開催イベント・お知らせのご案内】—…◆

平成31年4月16日（火）締め切り 告示（2019・2020年度 役員選挙について）

【支部】<http://www.sart.jp/radiotech/branch/> からお進みください。

平成31年1月24日（木）第四支部勉強会のお知らせ

平成31年1月24日（木）第五支部情報交換会のお知らせ

【学術案内】<http://www.sart.jp/radiotech/information/> からお進みください。

平成31年1月25日（金）第1回SART 学術ナイトセミナー～本当に理解している？ DR、CT の撮影条件と線量管理～

平成31年1月26日（土）平成30年度胸部認定試験開催のお知らせ

平成31年1月26日（土）第6回サイコメ実臨床セミナー「災害医療」一緒に学びませんか！

平成31年2月2日（土）第29回埼玉県大腸がん検診セミナー

平成31年2月2日（土）地元開催の全国大会で研究成果を発表しよう～研究発表支援セミナー～

平成31年2月9日（土）日本放射線公衆安全学会 第28回講習会 プログラム

改正RI法における医療現場の対応の最終準備

平成31年2月15日（金）第43回SAITAMA MRI Conference ご案内

平成31年2月22日（金）第75回埼玉CT Technology Seminar開催のご案内

平成31年2月24日（日）平成30年度SART TART支部合同勉強会骨軟部撮影セミナー2019

#### 【埼放技メールマガジン】

アドレスの変更・削除などは、以下のアドレスへご連絡ください。mail\_magazine2007@sart.jp

## 賛助会員さまへのお知らせ

編集情報委員会常務理事

清水 邦昭

### 会誌「埼玉放射線」への“技術解説・広告”のご依頼

日ごろから埼玉県診療放射線技師会へのご支援・ご協力ありがとうございます。  
“2022年度賛助会員さま”の特典の1つに、会誌「埼玉放射線」に技術解説・広告掲載があります。

会誌掲載投稿のお願いを申し上げます。詳細については以下に記します。

掲載内容：技術解説（製品紹介）A4 3頁 + 広告A4 1頁 = 計 4頁

会誌「埼玉放射線」発行月：1月・5月・7月・10月となります。

原稿締め切り：発行月1ヵ月前の第1月曜日までに電子メールでお送りください。

なお、掲載希望月は賛助会員さまでお決めいただき、あらかじめ電子メールにてお知らせください。

また、1企業さまにつき年度内に1回の掲載とさせていただきます。

(2022年7月・10月・2023年1月・5月発行月までに1回)

原稿詳細：以下に示します。

### 企画書および執筆要綱

埼玉放射線「技術解説（製品紹介）」

企画協力：(公社)埼玉県診療放射線技師会 会誌「埼玉放射線」

#### 企画意図

急速に進歩する医療業界においては、常に最新機器や医薬品・放射線被ばくの観点から、施設や線量測定技術などの情報、今後の動向を探ることが重要である。広い視野を持った業務遂行、被ばくに関する説明など、今後における業務の一助となることを目的とする。

#### 対象読者

「埼玉放射線」の読者である(公社)埼玉県診療放射線技師会の会員（診療放射線技師）、「埼玉放射線」の配布先関係者（発行部数1490部）。



<執筆要項>

【執筆者】 当会、賛助会員企業さま

1、本文「技術解説」A4 3頁

【本文】

- ・でき上がり（図表画像データ含む）  
◇左段22字×29行 右段22字×34行（1386字/頁）

【図表・画像データ】

- ・でき上がり  
◇本文約200字程度で換算をしてください。  
◇2段組の片側10行分を想定しております。  
◇大きな図表の場合は、600字程度（段抜き15行程度）。

【その他】

- ・納品は、MS-Wordのひな形に展開し、電子メールでお願い致します。
- ・可能であれば会社のロゴをお願い致します。  
◇会社のロゴは、広告原稿と別に取り扱いを致します。  
◇会社のロゴは、初頁2段組の片側5行分を想定しております。

【注意事項】

- ・技術的内容を含めてご執筆ください。自社製品の特徴など、宣伝を伴った文言を用いても構いませんが、他社との比較を行う場合は、技術的な論拠に基づき、客観的な内容としてください。
- ・商品名や型番は、本文内に表記してください。
- ・編集構成の都合上、体裁に関しましては、お任せください。
- ・入稿後に編集を行い、印刷原稿が組み上がった時点で、電子著者校正をお願い致します。
- ・図表・広告を含め、全て白黒印刷となります。

2、広告 A4 1頁

本企画では、執筆料のお支払いなどはございません。ただし、A4版1頁の広告スペースを無償にて提供致します（通常スポット広告A4版1頁で2万円）。

広告原稿としては、「埼玉放射線」掲載上、違和感のない製品紹介を中心とした内容（一般的な商業誌に掲載するものと同様の広告を想定）とし、特定イベント案内などの広告は、ご遠慮ください。

【問い合わせ・納品先】（公社）埼玉県診療放射線技師会 編集情報委員会 清水 邦昭  
勤務先：深谷赤十字病院 放射線科  
E-mail：k-shimizu@sart.jp TEL：048-571-1511

## 「メディカルオンライン学会誌無料閲覧サービスについて」

編集情報委員会

常務理事 清水 邦昭

本会会員は、専用アカウント（ID/PW）を用いてメディカルオンライン無料閲覧サービスを受けることができるようになりました。

※メディカルオンライン（Medical Online）とは、医学論文をダウンロード提供する医療の総合ウェブサイト。医学文献の検索全文閲覧をはじめ、医薬品・医療機器・医療関連サービスの情報を幅広く提供する、会員制の医学・医療の総合サイト。

サービスの内容：メディカルオンラインで掲載の本会誌「埼玉放射線」（全文・アブストラクト）、および他学会誌アブストラクトを無料で閲覧・検索することができます。

---

2022年度アカウントについて  
＜～2023年3月末日まで有効＞

学会さま専用ID：1100007180-07  
パスワード：6hrrh4uk

雑誌名：埼玉放射線

雑誌URL：<http://mol.medicalonline.jp/archive/select?jo=ew2saita>

貴会雑誌URLをクリックしますと、機関誌アーカイブ画面へ遷移します。

画面右側の会員認証欄に上記ID/PWご入力後、機関誌の閲覧が可能となります。

（添付：学会誌閲覧方法.pdf ご参照）

\*重要 アカウントの更新・移行期間に関して

専用アカウントは、1個発行し、年度ごと（4月～3月）で変更致します。  
次回は、2023年2月上旬に新アカウントを事務局さま（本Mailアドレス）へご案内致します。

\*メディカルオンラインでの検索は自由、アブストラクトは全誌閲覧可能です。

なお、埼玉放射線以外で全文ダウンロードボタンを押すと  
「あなたは文献をダウンロードする権限がありません」と表示されます。  
あらかじめご承知願います。

## お知らせ

### \*メディカルオンラインご利用に際してのお願い

一定時間内に論文を大量にダウンロードする事は、会員規約で禁止事項としています。

### ◆メディカルオンライン会員規約◆

<http://www.medicalonline.jp/img/houjinkiyaku.pdf>

### ※大量ダウンロードが発生した場合

そのご利用端末に対し、最大で1時間の利用停止措置の案内がメディカルオンラインより自動配信されます。

配信後においてもさらに続きますと、メディカルオンラインのサーバーに必要以上の負荷が掛かるため本会専用アカウントの利用停止に至る場合があります。

株式会社メテオ

コンテンツ部

東京都千代田区神田須田町2-7-3

TEL : 03-5577-5877 FAX : 03-5577-5878



# 「Hybrid ER Systemの使用経験」

～IVR-CT導入から運用まで～

さいたま赤十字病院

池野 裕太

## 1. はじめに

2021年4月1日からCanon社製のCT装置 Aquilion ONE GENESIS Edition とAngio装置 Alphenixが搭載されたIVR-CT導入され、1年6カ月運用してきた。IVR-CT導入により1部屋でPrimary SurveyからSecondary Surveyが完結することができ、さらに手術、外傷による血管破綻によるTAEや胸部外傷によるトロッカー挿入などの追加治療なども患者移動を行うことなくスムーズかつ短時間で移行することができるようになった。このシステムをHybrid ER System (HERS：ハーズ) と呼んでいる。今回はHERS導入から現在の運用について説明する。

## 2. 外傷初期診療の流れ

日本救急医学会より外傷初期診療の質を向上するためのガイドラインとしてJATEC (Japan Advanced Trauma Evaluation Care) がある。外傷初期診療の流れは、患者搬送決定後以下の順番で行われていく。

- ①患者受け入れ準備
- ②Primary Surveyおよび蘇生
- ③Secondary Survey
- ④根本治療

Primary SurveyではABCDEアプローチ(表1)、迅速簡易超音波検査FAST (focused assessment with sonography for trauma) (図1) が行われ、ABCの安定が図れたとき、Secondary Surveyに移行する。Primary Surveyにおける診療放射線技師の役割として、ショックの原因となる大量血胸の検索および後腹膜内出血の評価を行うため、胸部と骨盤部のポータブルの撮影を行う<sup>1,2)</sup>。

表1. ABCDEアプローチ

ABCDEアプローチの概要	
A(Airway)	気道評価・確保
B(Breathing)	呼吸管理
C(Circulation)	循環管理
D(Dysfunction of CNS)	中枢神経障害の評価
E(Exposure and Environmental control)	全身露出と体温管理

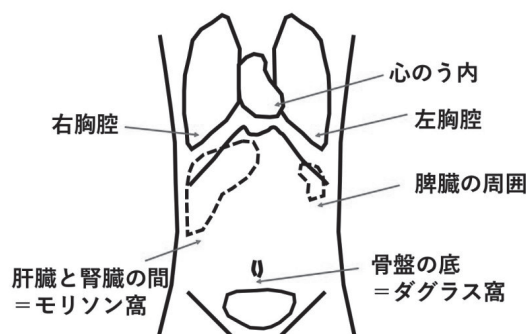


図1. FASTによるCの検索

Secondary Surveyでは、病歴の聴取、身体診察検査、CTや外傷に合わせた画像検査を行う。診療放射線技師は切迫するDに対する頭部CTおよび外傷の把握のため外傷全身CT撮影(Trauma-pan-scan)をし、全身の損傷を確認する。CTの読影によって、手術、血管塞栓術などの根本治療へと移行していく。

当院でも救急搬送されてくる外傷症例に対しては、JATECに則り診療を行っている。

## 3. Hybrid ER System (HERS) について

### 3-1 Hybrid ER Systemの概要

Hybrid ER Systemは、スライディングガントリーCT+CアームのIVR-CTシステムにより、外来初期診療、CT検査、緊急手術およびTAEが同一寝台で行える初療室であり、患者移動を一度も行わず診療を完結することができる(図2)。



図2. IVR-CT外観

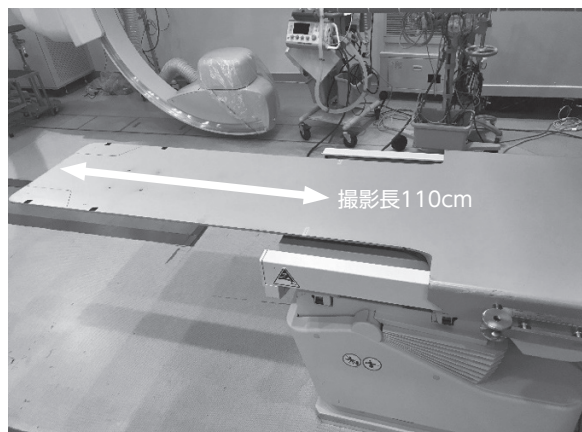


図4. 血管造影用寝台

### 3-2 HERS室内の工夫

IVR-CTのガント리는自走式であるため、CT撮影時にガントリ移動範囲に他の医療機器があると接触、破損の可能性があるため、手術用ライトやインジェクタなどの機器は天井から吊るし、ガントリとの接触を防ぐ仕様とした（図3）。



図3. 医療機器の配置

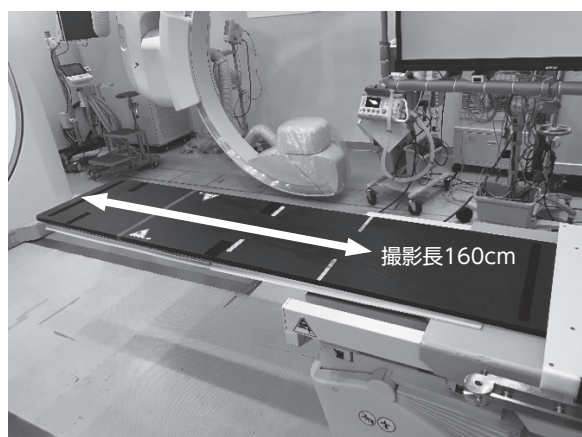


図5. 延長天板

しかし、延長天板を使用することで心停止患者に対して胸骨圧迫を行う際に寝台が大きいたわみ寝台が破損する恐れがあった。そのため事前に心停止の患者が搬送されるときには、寝台の下に圧迫を支える支柱を使用することで、寝台のたわみを解消すると共に胸骨圧迫の力が逃げず行えるようになった（図6）。

また寝台は手術用と血管造影用の2パターンが選べるが、当院は血管造影用の寝台を導入した。寝台の撮影長自体は110cmであるため、全身CTを撮影するには撮影範囲が短い。そこで延長天板を寝台に装備することにより最大160cmの撮影長となる（図4、5）。

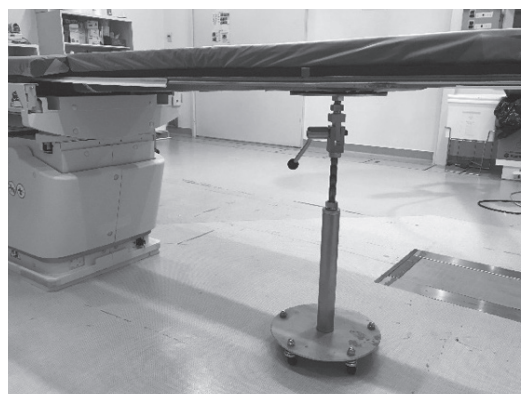


図6. 胸骨圧迫用支柱



室内には56インチの大型高精細モニターを設置し、さまざまな情報がモニターから得られるようにレイアウトを考えた。モニターに表示できるのは、電子カルテ・生体モニター・血管造影LIVE・Reference・ワークステーション・12誘導心電図・CTコンソールなどがあり、当院での患者入室時のレイアウトは3面を使用し、①患者の生体モニター②電子カルテ③血管造影のLIVEモニターが映るレイアウトにした(図7)。

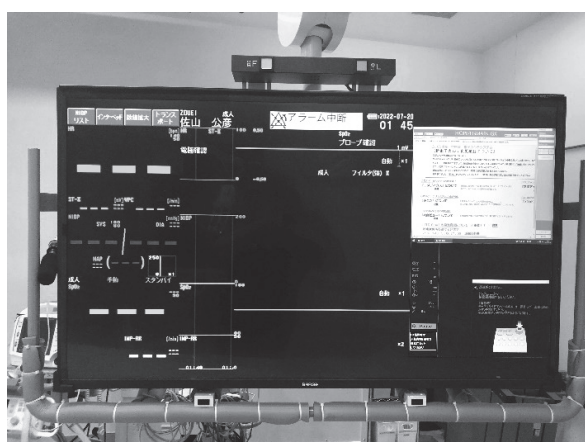


図7. 大型モニター

#### 4. HERSの運用

患者救急搬送が決定し、病院到着する前に診療を担当する医師・看護師・診療放射線技師・臨床工学技士が集まりブリーフィングを行う。ブリーフィングとは、簡単な報告という意味で実際には救急隊から得た患者情報の共有を行う(表2)。

表2. 当院が行うブリーフィング事項

さいたま赤十字病院HERS搬入前ブリーフィング事項
①傷病者情報(年齢・性別・受傷機転・バイタルサインなど)
②役割分担の確認
③入室者のプロテクター装着の確認
④MTP(大量輸血プロトコル)宣言有無
⑤エコー準備:FAST全例実施
⑥保温準備
⑦CTウォームアップ・CTインジェクター準備
⑧透視装置のスタンバイ
⑨開胸・開腹・IVRスタンバイ

診療放射線技師は主に⑦⑧⑨の準備を事前に行う。

患者がHERSに入室してからタイマーを開始し、入室から診療方針の決定までの時間を20分以内に行うことを目標としている(図8)。

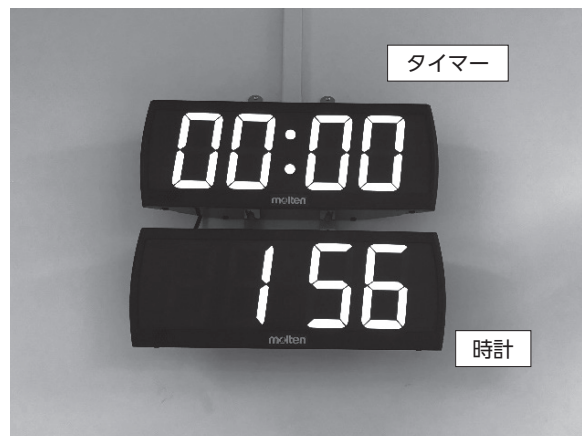


図8. タイマー

その後、HERS室寝台に患者を移動させ、生体モニターの装着・点滴ラインの確保・採血・FASTを同時に行っていく。

FASTを省略してCT撮影を行う施設もあるが、当院では全例FASTを行う。その理由として、緊急で開胸、開腹手術を行わなければ救命困難な症例もあり、CT撮影にはある程度時間を要するためFASTを行っている。またドクターカー出勤事案が多く、ドクターカー出勤医師以外はFASTを行わなくなってしまうため、医師の教育のためFASTを行っている側面もある。

全ての準備が整ってからCT撮影へ移行する。CTについては次項にて詳しく説明する。

CT撮影中から再構成された画像をリーダー医師が読影を進め、手術、TAEなどの必要の有無を判断し、根本治療に移行するか追加処置が不要であれば退出の手順となる。

#### 5. Trauma pan scan

##### 5-1 Trauma pan scanの概要

Trauma pan scanとは、頭部～骨盤部にかけて行う全身のCT検査である。患者の状況によって明らかな損傷部位があれば撮影範囲は適宜変更して対応している(図9、表3)。





図9. Trauma pan scan撮影範囲

表3. Trauma pan scan概要

撮影範囲	造影タイミング
①頭頸部単純CT	
②胸部～骨盤部単純CT	
③Wills動脈輪～大腿上部造影CT	造影剤注入30秒後 ヨード量520mgI/kg 30秒注入
④胸部～骨盤部造影CT	造影剤注入120秒後

### 5-2 CT撮影の実際

当院の従来撮影してきたTrauma pan scanは救急科医師と協議し、画像ノイズを考慮するため頭頸部CT撮影後、体幹部CTに移行する際、患者が挙上できる場合は挙上して撮影を行ってきた。

HERSでは全例挙上は行わず、上肢は体側または損傷が疑われる場合はScan-FOVの範囲に収まるように撮影を行うこととした。従来とHERSでのCT撮影にかかる時間を比較した(表4)。

表4. 時間の比較

	従来	HERS
病院到着からCT位置決め 画像を撮影する時間	15:52±6:39	12:29±2:12
CT撮影に要する時間	9:01±1:04	6:00±58.7

表5から従来に比べHERSでは病院到着からCT撮影まで約3分30秒程度、トータルのCT撮影は約3分短縮することができた。要因として、HERSの場合ポータブル撮影とCT寝台への移動がないことが大きな要因となる。従来の診療では、①救急搬送時②CT室移動時③CT室退出時④手術室または血管造影室入室時と患者は搬送されてから3～5回ほどの移動を行う。しかし、HERSは救急搬送時に一度のみ寝台に移動し、全ての診療を行うことができる。そのためCT撮影までの時間が短縮される。

またCT撮影時間短縮は、挙上の有無はもちろんのこと、挙上するとき生体モニターや点滴ラインが絡まることが多く、また従来では挙上させ、体幹部単純CTを撮影後点滴ラインに造影剤を接続させていた。HERSでは、頭頸部CTが始まる前に造影剤を接続する運用としたため、室内に入る回数が減り、また生体モニターや点滴ラインを動かすことがないため、時間短縮につながった。

### 5-3 DLRの利用

当院のIVR-CTにもディープラーニング技術であるDeep Convolutional Neural Network (DCNN) を用いた画像再構成法であるAiCE (Advanced intelligent Clear-IQ Engine) が搭載されている。AiCEは、ノイズ成分と信号成分を識別する処理を用い、空間分解能を維持したままノイズを選択的に除去することが可能である。AiCEを用いることで、CTが持っている時間分解能を最大限に引き出しながら、高いノイズ低減効果を得ることができる。また低コントラスト領域においても、粒状性を維持しながら高いノイズ低減効果が得られ、低線量領域でも安定した画質向上を実現している(図10)。

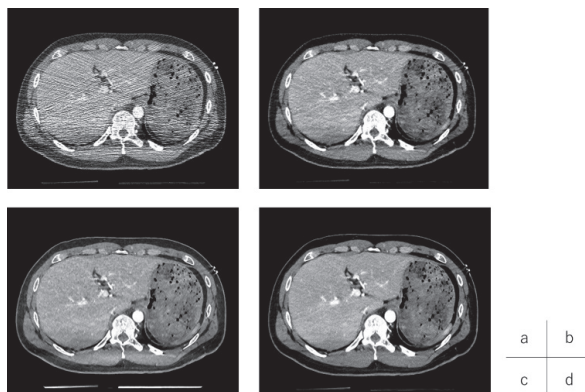


図10. 各再構成における画質の違い  
a)FBP b)AIDR3D c)FIRST d)AiCE

また各画像に対するSDを測定した  
(図11、表5)。

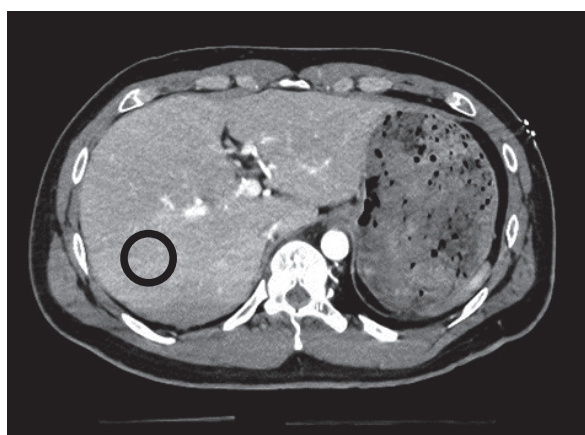


図11. SD測定点

表5. 画像SDの比較

	FBP	AIDR3D	FIRST	AiCE
SD	147.25	21.51	14.26	13.27

表5より、AiCE<FIRST<AIDR3D<FBPの順でノイズ低減された画像となった。また、AiCEで腕と心電図モニターからのストリークアーチファクトを最もアーチファクトの低減ができています。

#### 5-4 画像再構成時間

三次救急において画像読影の時間を早くすることが大切である。Canon社製のCTにはInsta Viewというリアルタイム再構成に代わる画像確認ツールがあり、リアルタイムで画像表示が可

能である。しかし、Insta Viewを使用すると画像再構成が撮影中に行えないデメリットがある。このデメリットに加えInsta Viewでの見落としを防ぐため、当院ではInsta Viewでの読影は行わず、再構成された画像を直接PACS (Picture Archiving and Communication System) に転送し、医師はPACSに順次再構成された画像を読影する運用とした。またCanon社製のCTはFBP、逐次近似応用再構成 (AIDR3D) と逐次近似再構成 (FIRST)、DRL (AiCE) では画像処理サーバーが異なるため、2重に再構成することが可能である。そのため、提出画像の再構成を工夫し、再構成時間になるべく短くなるようにした (表6)。

表6. 各撮影の再構成条件

	画像断面	スライス厚	再構成関数	
頭頸部単純	脳実質条件	Axi	0.5mm	AIDR3D FC26
	脳実質条件	Axi	3mm	FBP FC26
	骨条件	Axi	2mm	AIDR3D
	骨条件	Sag,Cor	2mm	AiCE
胸部～骨盤部単純	軟部条件	Axi	3mm	AIDR3D
	肺野条件	Axi	3mm	AIDR3D
	肺野条件	Cor	3mm	AiCE
	肺野条件	Axi	1mm(Vol)	AiCE
Wills動脈輪～大腿上部造影		Axi	3mm	AIDR3D
	軟部条件	Sag,Cor	3mm	AiCE
		Axi	1mm(Vol)	AiCE
胸部～骨盤部造影	軟部条件	Axi	3mm	AIDR3D

また各再構成における画像再構成時間を計測した (表7)。

表7. 各再構成における画像再構成時間

	FBP	AIDR3D	FIRST	AiCE
画像再構成にかかる時間(秒)	28.63	59.78	772.37	78.58

Wills動脈輪～大腿上部の画像を各再構成でスライス厚1mm、画像枚数978枚で再構成を行った。

表7より画像再構成時間はFBP>AIDR3D>AiCE>FIRSTの順で速くなった。

FIRSTとAiCEを比較するとAiCEの方がFIRSTに比べ画像再構成時間が約10倍速い結果となった。これらの理由から、画質・再構成時間を考慮して、現在当院ではAIDR3DとAiCEを組み合わせる画像再構成を行っている。

## 6. さいごに

HERSでは医師をはじめ、多職種が集まり診療を行う。診療に携わるに当たり、職種ごとに役割があり、その役割を理解し遂行することで初めて患者に対して診療を行うことができる。診療放射線技師の役割は、外傷診療には欠かすことができないCT画像を提供することである。このCT画像によって診断および治療方針の決定を行う。そのため、われわれが責任感を持って撮影に臨むことが重要である。現状の運用を説明してきたが、改善・改良を今後さらに協議し、より良い医療および画像を患者に提供していきたい。またチーム医療の一員として自覚を持ち、これからの診療に携わっていきたい。

## 7. 参考文献

- 1) 日本救急撮影技師認定機構：改訂第2版 救急撮影ガイドライン 救急撮影認定技師標準テキスト
- 2) 日本外傷学会、日本救急医学会：改訂第4版 外傷初期診療ガイドライン JATEC

# 「AIを用いた画像再構成技術」

～ AIR™ Recon, AIR™ Recon DL ～

GEヘルスケア・ジャパン株式会社 MR部 モダリティスペシャリスト  
吉野 要



## はじめに

MRIの技術的進歩はハードウェア開発だけでなく、撮像技術・画像再構成技術・画像処理技術といったソフトウェアの開発も多方面で進んでいる。特に、画像再構成技術は圧縮センシングや機械学習など、情報科学分野の技術を取り入れることで、MRIの高速化・高画質化を目指すさまざまな技術が開発されており、技術の進歩が著しい分野である。

GEの画像再構成パイプラインには、コイルにおける信号受信プロセスの最適化機能である“AIR™ Recon”とディープラーニング画像再構成法である“AIR™ Recon DL”の2つの機能が搭載されている（図1）。

本稿では、次世代の画像再構成技術に関する技術開発について簡潔に述べている。

## AIR™ Recon

AIR™ Reconでは、プレスキャン中にノイズキャリアブレーションデータを取得し、各コイル素子のノイズレベルに応じて受信チャンネルの重みづけを行うことにより背景ノイズを減らし、アーチファクトアーチファクトや折り返しなど、FOV外からのアーチファクトの抑制・画像のSNRを向上させる機能である。AIR™ Reconはスピンエコー系やグラディエントエコー（以下、GRE）系、また2D、3D問わずほとんどの撮像に対応している。そのため今までと同じスキャン時間で、イメージクオリティが向上する。

## 深層学習（ディープラーニング）の臨床応用と、MR画像再構成技術への展開

人工知能（AI）技術の医療への応用はさまざまなアプローチで技術開発が進んでおり、特にMRにおいては、検査における自動撮像や解析処理における自動セグメンテーションなど、検査精度の向上や効率化に関するAI技術のいくつか、すでに実装され臨床活用されている。さらに最近では、ディープラーニングを用いたCT/MR

## AIR™ Image Quality...画像再構成パイプラインにおける革新



信号受信から臨床画像作成までのプロセス全体で、イメージクオリティを向上しています。

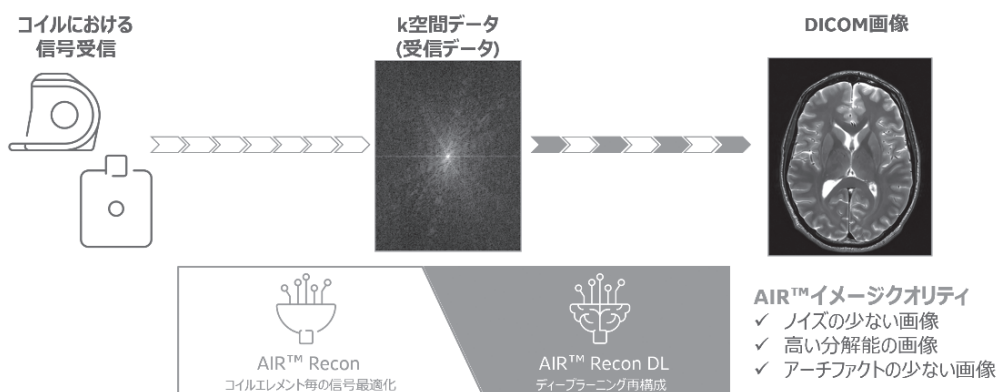


図1. 画像再構成パイプライン



画像再構成法の臨床活用が始まり、例えばCTの TrueFidelity™ Imaging (TFI) 技術では、空間分解能を保ったまま劇的なノイズ低減効果が得られ、臨床的にも技術的にも大きな注目を集めている。一方、MRの画像再構成においては、ノイズ低減を行うネットワーク、モーションなど、アーチファクトを低減するネットワーク、画像のコントラストを変換するネットワークなど、さまざまな目的でディープラーニングの研究が盛んに行われている。後述するAIR™ Recon DLは、単純なノイズ低減だけでなく、トランケーションアーチファクトの低減、さらには画像の尖鋭度向上といった多くの効果およびそれによる臨床有用性に期待が持たれている。

## AIR™ Recon DL

AIR™ Recon DLは、従来のk空間フィルタを利用せず、収集したraw data全体に対してアルゴリズムを適用する、フィルタレス型の次世代ディープラーニング画像再構成法である。

通常のMR画像再構成のプロセスは、(図2)に示すようにk空間のraw dataにアポダイゼーションフィルタを応用し、フーリエ変換後必要に応じて画像フィルタなどを適用して再構成されている。このk空間フィルタは、k空間の高周波成分を抑えることで、高周波ノイズ(熱雑音)やk空間のトランケーションアーチファクト(Gibbs ringingアーチファクト、打ち切りアーチファクト)を低減する効果がある一方、見かけの空間分解能を低下させ、画像のボケを引き起こすため、通常

の画像再構成では臨床的に最適な画質となるように、フィルタの強度などが最適化されている(図2)。

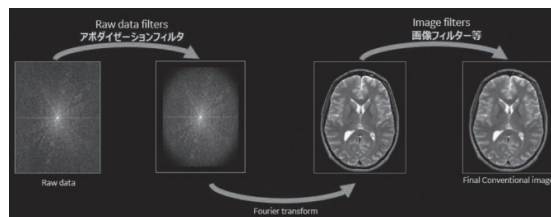


図2. 通常のMR画像再構成プロセス

一方、AIR™ Recon DLは、畳み込みニューラルネットワーク(CNN)と呼ばれるディープラーニングネットワークを用いることで、上述のアポダイゼーションk空間フィルタを必要とすることなく、raw dataをそのまま利用して画像再構成を行うため、高周波成分のデータを損なうことなく収集しMR信号を、より効果的に画像に反映させる画期的な画像再構成技術である。

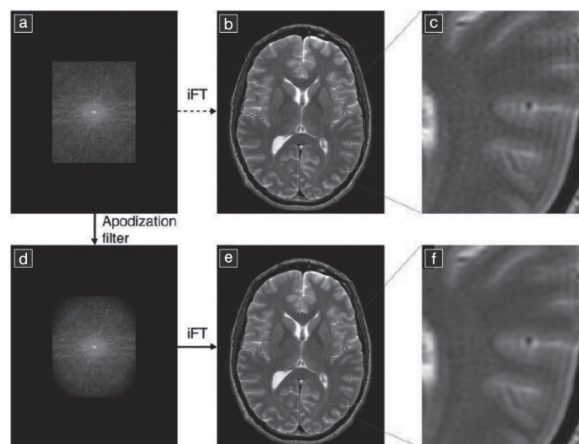


図3. k空間フィルタによるフーリエ変換後画像の影響

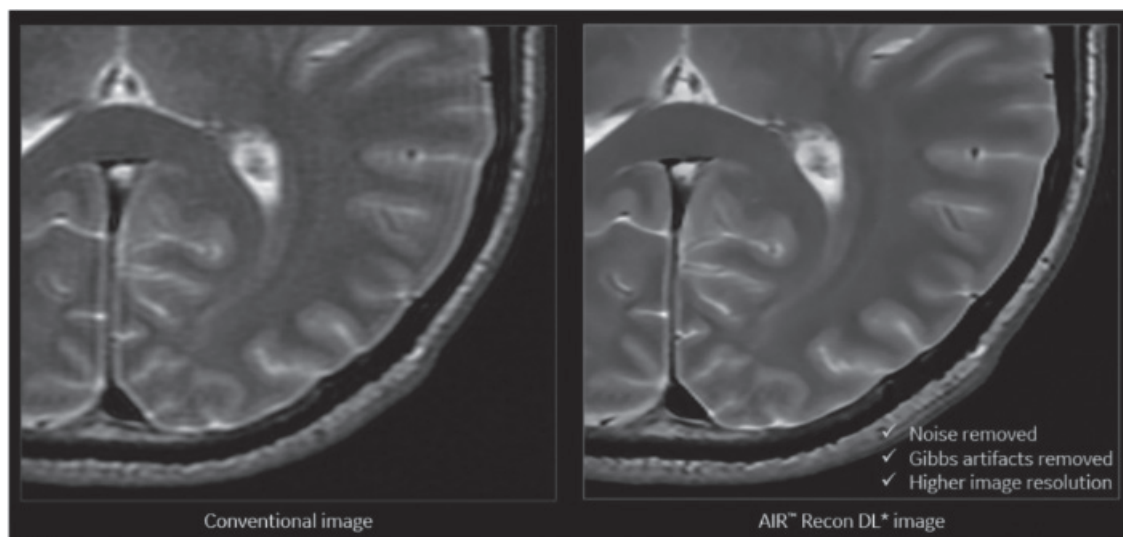


図4. AIR™ Recon DLによる画質向上効果

ネットワークの学習には、低SNR・低空間分解能・トランケーションアーチファクトの多いデータと、高SNR・高空間分解能・トランケーションアーチファクトの少ないデータを用いており、結果として画像ノイズだけでなく、トランケーションアーチファクトも減少させながら、高周波成分のデータを維持した尖鋭度の高い画像を得ることが可能になる革新的な再構成アルゴリズムを採用している（図4）。ファントムを用いた再構成画像比較においても、AIR™ Recon DLによって画像の尖鋭度が向上し、ノイズとともにリング状のトランケーションアーチファクトも大幅に低減されているのがよく分かる（図5）。

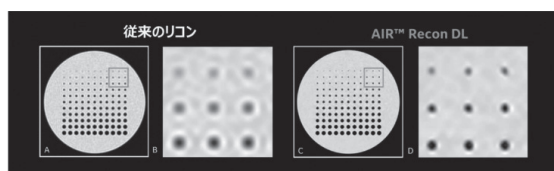


図5. ACRファントムを用いた再構成画像の比較  
(同一raw dataを使用)

ファントム実験では、SNRが最大3~4倍、画像の尖鋭度は最大60%の向上効果が示されており、臨床例においても、（図6）に示すように画像がよりシャープに見えるのが確認できる。AIR™ Recon DLのディープラーニングアルゴリズムは、膨大な臨床データからさまざまなノイズ・アーチファクトを付加した数百万のパターン画像を作成し学習させているため、活用の幅が広く、全身領域で磁場強度に依存せず、かつ多くのコントラストで応用可能な技術であるため、今後の更なる製品発展の加速が期待できる。

## おわりに

本稿では、ディープラーニングを用いた画像再構成の技術展開について記載した。研究領域の多くの最先端技術をいち早く臨床用アプリケーションとして最適化し、医療現場のさまざまな課題解決に向けて、メーカーとして少しでも貢献できるよう努める所存である。

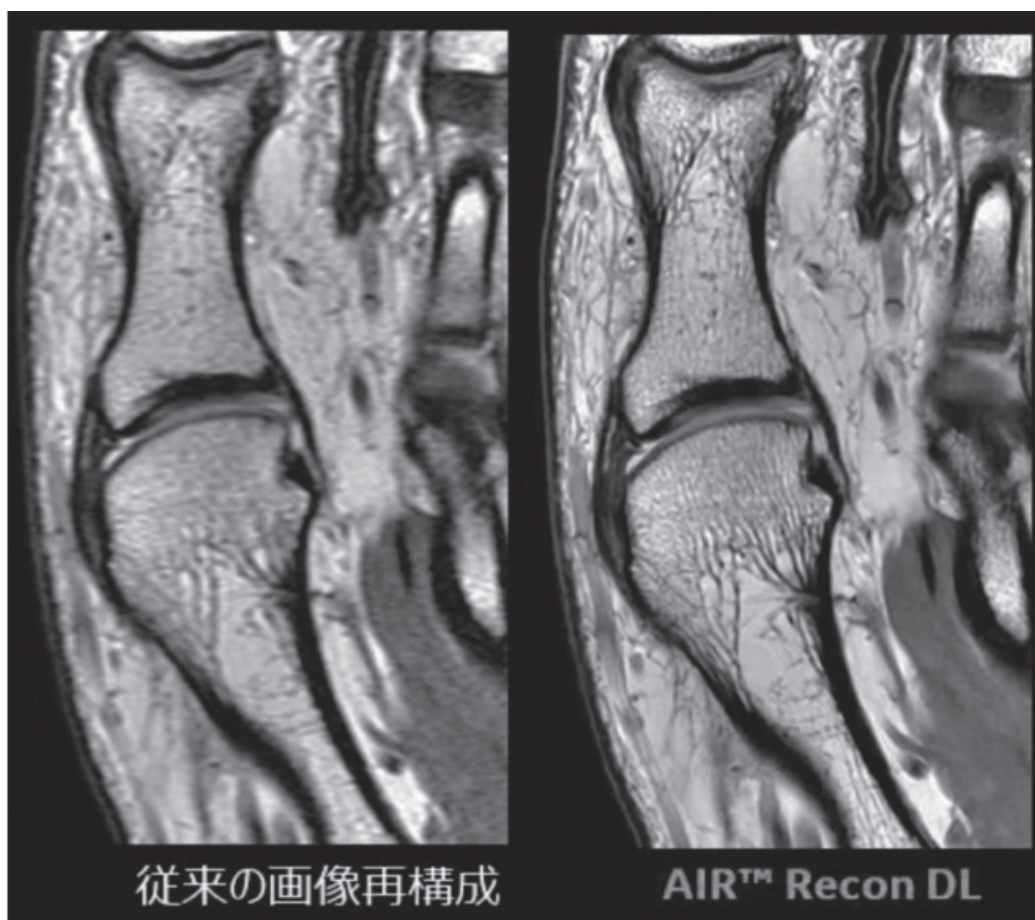


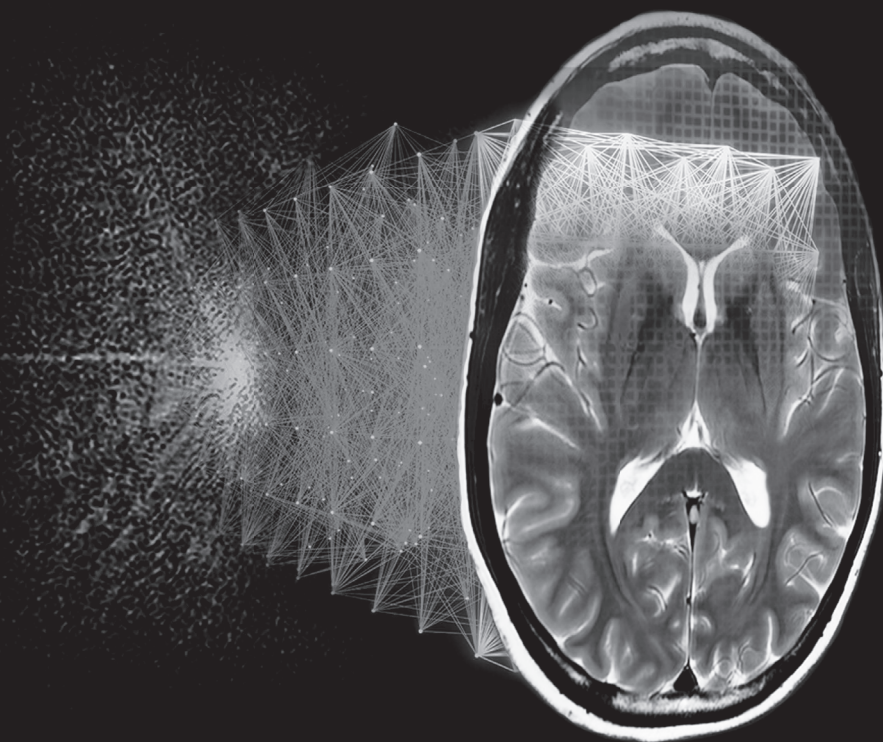
図6. 足指関節での再構成画像の比較  
(同一raw dataを使用)





ディープラーニング画像再構成技術

# AIR™ Recon DL



## MRI検査は新たなステージへ

AIR™ Recon DLによる次世代イメージングは、  
病院のニーズに合わせた多彩な活用方法を提供します。  
検査数の増加、診断の確信度向上、読影負担の軽減など、  
MRI検査に革新的な変化をもたらします。

詳しくは、[gehealthcare.co.jp](http://gehealthcare.co.jp)をご覧ください。

販売名称: SIGNA Voyager(シグナVoyager) 医療機器認証番号: 228ACBZX00009000

※Deep Learningは製品開発に用いられており、納入後に学習し続ける技術ではありません。

JB05564JA

## 第6回 SART 学術ナイトセミナー ～CT・MR Angiographyのワンポイントアドバイス～ 開催報告

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会  
学術理事 中根 淳

2022年7月29日と8月5日にWeb会議システムを用いて、第6回SART学術ナイトセミナー～CT・MR Angiographyのワンポイントアドバイス～を開催しました。参加者は47人でした。内訳は、関東以外にも北陸、近畿、九州からの参加があり、これもオンラインセミナーのメリットと考えています。内容と講師は、以下の通りです。

プログラム（敬称略）

18：50～19：50	CT編	「Bolus trackingとtest injectionの本質を理解しよう」	埼玉医科大学総合医療センター	中根 淳
20：00～21：00	MR編	「体幹部非造影MRAのメリット・デメリットを考える」	横須賀市立市民病院	加々美 充

現在の画像診断においてCTとMRIは中核を担うモダリティとなっています。また、一昔前では侵襲的な血管撮影で血管の情報を取得していましたが、今ではCT・MRIでAngiographyを実施することが一般的になっています。そこで、CTでは撮影タイミング、MRIでは非造影に関するワンポイントアドバイスを各講師にさせていただきました。初学者から中級者の方にも有益な情報提供ができたと思います。

最後になりますが、講師の皆さま、およびセミナーに参加していただいた皆さまにこの場をお借りして、心よりお礼申し上げます。

## 第六支部

## ～ Lock on ～

埼玉県診療放射線技師会

第六支部

## ・巻頭言

## 巻頭言

埼玉県立小児医療センター 畠山 祥一

私は物事に対して考える際に視野が狭い傾向にあると思う。

私は小学6年にソフトテニス始めた。中学に入ってから試合で勝つことも増え、地区大会では同世代の選手よりも速い球を打つことができ、自分でも上達していると感じていた。強豪校の講習会などでは打つ際のフォームについて指導を受けることもあったが、慣れないことが多く、違和感が強いあまり話を聞かないこともあった。今がうまくいっているの、このままでよいのではないかと思っていた。しかし、それから高校に行って自分で勉強し、ほかの強い選手のインタビューなどを見ていると当時に言われていたことの意味や重要性に初めて気が付き、実践することでより勝てるようになった。もっと早くから始めていればより良い結果を残せたのではと後悔している。自分の今していることが全て正解であると思いついてきたが、正解から遠回りをしてきた。なんなら間違いである可能性もある。

私は診療放射線技師として仕事をして6年目になる。自分で勉強したことや経験したことをメインで考えることが多かったが、それはまだまだほんの一部であるし、自分よりも経験のある先輩方の言葉や、同期・後輩でも考え方ややり方から学べることも多い。自分にはない視点での考えがあるので多くの話を聞くようにしていき、広い視野を持てるようにしたい。

またコミュニケーションを取ることが苦手である。早口であることと声が小さいため、相手が聞き取れないことも多い。ここ数年、コロナによりマスクの着用が当たり前となり、なおさら聞き取ってもらえないことが増えた。仕事の際は意識して聞こえるように声量や話す早さに気を付けているができていないこともある。患者への説明や他職種との連携の際にうまく伝えられないと円滑に検査を進めることができないため改善していきたい。

話し方もそうだが伝え方にも注意していきたい。私は自分の伝えたいことを伝えようとするとき、すべての内容を伝えようと説明が長くなりがちで、人によっては伝わらないこともある。一つの方法だけでなく、いくつかの手段を持つことで伝えやすくなると思う。本を読んだり他人の話し方に注意して自分のコミュニケーション能力向上に努めたい。

## 求人コーナー

本会は、求人情報の掲載のみで、雇用内容に関するお問い合わせは受けておりません。また雇用契約に一切関わっておりません。

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会発行の会誌「埼玉放射線」で、診療放射線技師の求人コーナーを掲載しております。次の掲載要項をご理解の上、申し込みくださるようお願い申し上げます。

### 掲載要項

発行部数：約1490部

発行エリア：埼玉県内

発行月：1・5・7・10月中旬

原稿締切日：発行月の1カ月前の1日

申込方法：求人広告掲載申し込み用紙でFAX、または同項目を記載し電子メールにて申し込み。  
法令により年齢や性別に関する記述はできません。

掲載可否：後日担当者より連絡

掲載料：1回1万円

振込先：掲載決定後にご連絡

## 求人広告掲載申し込み FAX 用紙

施設名	
住所	
担当者氏名	
TEL	
FAX	
E-mail アドレス	
募集対象者	
雇用形態	
業務内容	
待遇	
勤務時間	
休日	
募集人員	
宿舍の有無	
社会保険など	
応募方法	
その他	

FAX 送信先 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会  
FAX 番号 048-664-2733  
電子メールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp

## 2022年度 第1回理事会議事録 (抄)

日時：2022年5月26日 (木) 19:00~20:30

場所：ZoomによるWeb会議

出席者：会長：田中 宏  
 副会長：富田 博信、潮田 陽一  
 常務理事：今出 克利、八木沢英樹、  
 城處 洋輔、中根 淳、  
 清水 邦昭  
 理事：肥沼 武司、滝口 泰徳、  
 近藤 敦之、吉田 敦、  
 紀陸 剛志、双木 邦博、  
 大西 圭一、市川 隆史、  
 大野 渉、矢崎 一郎、  
 茂木 雅和  
 事務局長：結城 朋子  
 監事：堀江 好一、浅野 克彦  
 顧問：小川 清  
 欠席：佐々木 健、鈴木 正人、  
 戸澤 茜

### 第1. 議事録作成、議事録署名人の選出について

議長：田中 宏  
 議事録署名人：田中 宏、堀江 好一  
 議事録作成：八木沢英樹 と定めた。

### 第2. 報告および確認事項

1. 会長 (田中)
  - (1) 報告事項 なし
2. 副会長 (富田)
  - (1) 6月11日 (土) 日本診療放射線技師会 第84回定期総会 (役員選挙) について  
 富田副会長は理事、小川顧問が監事に立候補する。
3. 副会長 (潮田)
  - (1) 報告事項 なし
4. 総務 (今出)
  - (1) 第一支部勉強会、講師委嘱状の発送について  
 ア. 該当者3人に対して、委嘱状を作成した。(公印番号4-3)

- イ. 4月13日 (水) に郵送した。
- (2) 第六支部役員の委嘱状の発送について  
 ア. 該当者5人に対して、委嘱状を作成した。(公印番号4-5)  
 イ. 5月6日 (金) に郵送した。
- (3) 総会運営委員会を開催した。  
 ア. 日時：2022年5月12日 (木) 19:00~20:00  
 イ. 会場：ZoomによるWeb会議  
 ウ. 添付資料①：2022年度 第11回SART定期総会運営委員会 議事録
- (4) フレッシュャーズセミナーを開催した。  
 ア. 日時：2022年5月15日 (日)  
 イ. 会場：ZoomによるWeb開催  
 ウ. 参加人数：86人  
 エ. 添付資料②：フレッシュャーズセミナー開催報告
- (5) 総会運営委員の委嘱状の発送について  
 ア. 該当者7人に対して、委嘱状を作成した。(公印番号4-7)  
 イ. 5月20日 (金) に郵送した。

### 2022年度の会議予定

日時	イベント名	備考欄
2022/ 5/19 (木)	第1回常務連絡会	
2022/ 5/26 (木)	第1回理事会	
2022/ 6/12 (日)	SART 総会	
2022/ 6/30 (木)	第2回常務連絡会	
2022/ 7/ 7 (木)	第2回理事会	
2022/ 7/28 (木)	第3回常務連絡会	
2022/ 8/ 4 (木)	第3回理事会	
2022/ 8/25 (木)	第4回常務連絡会	
2022/ 9/ 1 (木)	第4回理事会	
2022/10/ 6 (木)	第2回常務理事会	
2022/10/27 (木)	第5回常務連絡会	
2022/11/10 (木)	第5回理事会	祭日のため スライド
2022/12/ 1 (木)	第3回常務理事会	
2022/12/29 (木)	第6回常務連絡会	
2023/ 1/ 5 (木)	第6回理事会	
2023/ 2/ 2 (木)	第4回常務理事会	



日時	イベント名	備考欄
2023/ 2/22 (水)	第7回常務連絡会	祭日のため スライド
2023/ 3/ 2 (木)	第8回理事会	

5. 総務 (八木沢)

- (1) 報告事項 なし

6. 編集・情報 (清水)

- (1) 会誌 埼玉放射線5月268号

発送準備中

ア. 内容:

(ア) 2022年度埼玉県診療放射線技師会総会第11回総会資料

特集: 埼玉県内の核医学治療の現状

(イ) 誌上講座: 冠動脈CT撮影のピットフォール

- (2) 会誌埼玉放射線7月269号

締め切り6月1日 (水)

ア. 内容:

(ア) 特集 第35回埼玉県診療放射線技師学術大会 後抄録集

最優秀演題賞

優秀演題賞

優秀演題賞

フレッシューズセミナー「標準撮影から一歩先へ」～追加撮影を理解しよう～

フレッシューズセミナー「輝度調整だけで大丈夫? 臨床に適した画像処理選択の基本」

フレッシューズセミナー「基準撮影法2における撮影と透視観察の標準化」

(イ) 技術解説: PDRファーマ株式会社

- (1) 委員会開催予定

第1回編集情報委員会 2022年6月3日 (金) 予定

- (4) 会誌発行部数 1490部 次回から1550部に変更

e-book 5月号にてご案内とID、パスワードを掲載

7. 編集・情報 (吉田)

- (1) ホームページ

Webサイト掲載および更新 (会員用)

ア. 第17回GE DWIBS研究会

イ. 62回 埼玉消化管 撮影 研究会開催案内

ウ. 2022年度 支部合同勉強会

エ. 迷惑メール (なりすましメール) に関するお詫びと注意喚起について

オ. 第2回CT motion Webinar

カ. Topページバナー修正 (PDRファーマ株式会社)

キ. 2022年度 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー (第23回SARTセミナー)

ク. 第六支部 2022年度 第1回Web定期講習会のご案内

ケ. 第11回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会のお知らせ

コ. 第102回 埼玉CT Technology Seminar 開催のご案内

サ. 2022年度埼玉県診療放射線技師会 第一支部 第1回勉強会

シ. 第11回定期総会のはがき 文書訂正のお詫びとお知らせ

ス. 第74回 太田地区画像診断技術研究会のご案内

セ. 第75回 太田地区画像診断技術研究会のご案内

- (2) Webサイト掲載および更新 (一般用)

ア. 迷惑メール (なりすましメール) に関するお詫びと注意喚起について

イ. Topページバナー修正 (PDRファーマ株式会社)

- (3) メールマガジン

ア. メールマガジン登録5件

イ. メールマガジンNo113・No114・No115 配信

8. 財務 (肥沼)

- (1) 3月22日 (火) 公益インフォメーションに2022年度事業計画を提出

- (2) 3月22日 (火) 第35回学術大会HPに畦元議員のビデオあいさつを公開

- (3) 第35回埼玉県診療放射線技師学術大会ホームページアクセス解析 (2022年3月20日(日))

ア. スケジュール: 1,826件

イ. トップページ: 1,490件

ウ. 演題リスト: 618件

- エ. 企画リスト：392件  
 オ. 名前検索：173件  
 カ. 大会要項：72件
- (4) 3月30日(水) 第35回埼玉県診療放射線技師学術大会オンデマンド配信設定
- (5) 4月1日(金) SARTメールパスワード変更お願いの通知発送
- (6) 4月8日(金) 元SART役員メールアカウント削除の連絡通知(27人)
- (7) 4月8日(金) ウイルス対応ソフト導入のためのPC利用状況アンケートフォーム作成
- (8) 4月22日(金) ウイルス対応ソフト導入のためのアンケート結果を会長・副会長・常任理事に提出
- (9) ウイルス対応ソフト導入のためのPCアンケート結果  
 回収率：55% (29/53人)  
 推定PC台数：85台  
 推定ライセンス希望数：69
9. 学術(城處)
- (1) 第35回埼玉県診療放射線技師学術大会を開催した。  
 ア. 日時：2022年3月20日(日)  
 イ. 会場：ZoomによるWeb開催  
 ウ. 参加人数：224人  
 エ. 添付資料：開催報告およびアンケート結果(添付資料①)
- (2) 2022年度 第1回学術委員会を開催した。  
 ア. 日時：2022年5月11日(水)  
 イ. 会場：ZoomによるWeb会議  
 ウ. 添付資料：第1回学術委員会議事録(添付資料②)
- (3) 告示研修の開催について  
 ア. 開催日時は、7月10日、24日、31日で調整中  
 イ. 会場：済生会川口総合病院
10. 学術(中根)
- (1) 報告事項なし
11. 公益(佐々木)
- (1) 被ばく相談  
 ア. 2月) 2件  
 3月) 1件  
 4月) 1件(継続中)
12. 公益(紀陸)
- (1) 放射線被ばくに関する講習会  
 ア. 日時：2022年2月19日(土) 14:00~18:00  
 イ. 場所：Zoom(Web開催) With youさいたま視聴覚セミナー室から配信  
 ウ. 参加者25人
- (2) 第3回SART被ばく相談事例検討会  
 ア. 日時：2022年2月22日(火) 19:00~20:40  
 イ. 場所：Zoom(Web開催)  
 ウ. 参加者：17人
13. 第一支部(双木)
- (1) 第1回支部勉強会  
 ア. 日時：2022年4月22日(金) 19:00~20:30  
 イ. Zoomによる開催  
 ウ. 参加人数：50人  
 エ. 内容：  
 (ア) 2021年度会計報告：第一支部理事 双木 邦博  
 (イ) メーカー講演：「AI技術を用いたAplio i シリーズPrism editionのご紹介」  
 キヤノンメディカルシステムズ株式会社 阿部 史称  
 「造影CTの基礎 ~安心安全な医療を提供するために~」  
 株式会社根本杏林堂 宇越 弘樹
- (ウ) 一般演題：  
 「当院での一般撮影における再撮影率の傾向と対策」  
 JCHO 埼玉メディカルセンター 放射線技術部 浅賀やよい  
 「当院の新型コロナウイルス感染症対策下における胸部CT撮影の傾向」  
 JCHO 埼玉メディカルセンター 放射線技術部 川久保優妃  
 「当院の再生医療(膝)について」  
 埼玉協同病院 佐藤 直哉

座長：JCHO 船橋中央病院

14. 第二支部（大西）

滝口 泰徳

(1) 支部合同勉強会へ参加した。

講師：埼玉県済生会栗橋病院

ア. 日時：2022年5月21日（土）14：00～

放射線技術科 鈴木 孝義

(2) 今後の予定：なし

ウ. 参加者：52人

15. 第三支部（市川）

報告事項なし

(1) 今後の予定：なし

16. 第四支部（大野）

(1) 第四支部 総会

ア. 日時：2022年3月17日（木） 19：00～  
20：30

イ. 内容：決算報告など

ウ. 参加者：25人

17. 第五支部（矢崎）

(1) 報告事項：なし

(2) 支部合同勉強会

ア. 日時：2022年5月21日（土） 13：00～  
17：00

イ. 内容：ディスカッション ～ なんでもいい  
から諸先輩に聞いてみよう！ ～

ファシリテーター：上尾中央総合病院

仲西 一真

さいたま市立病院

福田 栞

回答者：

かわぐち心臓呼吸器病院 竹本 直哉

埼玉西協同病院 北原 弘治

埼玉石心会病院 岡田 良祐

深谷赤十字病院 登坂 崇史

上尾中央総合病院 飯島 竜

その他、セッションに参加されている

皆さま方

タスクシフト/シェアについてのアン

ケート

埼玉県済生会栗橋病院 内海 将人

診療放射線技師のタスクシフト/シェ

アと業務拡大について（仮）

埼玉県診療放射線技師会副会長 兼

日本診療放射線技師会副会長

富田 博信

救急センター看護師だった診療放射線

技師が、進化する診療放射線技師に伝

えられること

18. 第六支部（茂木）

(1) 第六支部定期総会および2021年度第2回定期  
講習会

ア. 日時：2022年3月10日（木）

イ. 場所：Zoom

ウ. 出席人数：20人

委任状提出者数：224人 合計：244人

内容：支部定期総会

講習会『告示研修について』

上尾中央総合病院 茂木 雅和氏

【概要について】

さいたま赤十字病院 大川斗喜也氏

【告示研修を受講して】

(2) 第1回支部役員会議

ア. 日時：2022年4月14日（木）

イ. 場所：Web会議

ウ. 参加人数：13人

内容：四半期報告、定期講習会など

(3) 埼玉県診療放射線技師会第六支部 2022年度  
第1回Web定期講習会

ア. 日時：2022年4月28日（木）

イ. 場所：Zoom

ウ. 出席人数：51人

エ. 内容：支部定期総会

施設演題

明日から使える撮影技術と修正方法 肩関

節・膝関節編

山記念総合病院 関谷 直樹

当院における再撮影率低減に向けた取り組

み

彩の国東大宮メディカルセンター

横山 楓

技師講演  
 一般撮影 画像処理の基礎  
 FUJIFILMユーザーの視点から  
 上尾中央総合病院 樋口 誠一

(4) 2022年度支部合同勉強会

ア. 日時：2022年5月21日 (土)  
 イ. 場所：Zoom  
 ウ. 参加人数：52人  
 エ. 内容：支部定期総会

「ディスカッション ～ なんでもいいから諸先輩に聞いてみよう！～」  
 ファシリテーター：上尾中央総合病院  
 仲西 一真  
 さいたま市立病院  
 福田 栞

回答者：

かわぐち心臓呼吸器病院 竹本 直哉  
 埼玉西協同病院 北原 弘治  
 埼玉石心会病院 岡田 良祐  
 深谷赤十字病院 登坂 崇  
 上尾中央総合病院 飯島 竜

その他、

セッションに参加されている皆さま方  
 「タスクシフト/シェアについてのアンケート」

埼玉県済生会栗橋病院 内海 将人

【診療放射線技師のタスクシフト/シェアと業務拡大について (仮)】

(公社) 埼玉県診療放射線技師会副会長 兼  
 (公社) 日本診療放射線技師会副会長

富田 博信

「救急センター看護師だった診療放射線技師が、進化する診療放射線技師に伝えられること」

座長：JCHO 船橋中央病院 滝口 泰徳

講師：埼玉県済生会栗橋病院

放射線技術科 鈴木 孝義

(5) 今後の予定：なし

第3. 審議・承認事項

1. 議案-1 ウイルスソフト貸与について

(1) 起案者：田中 宏 (会長)

(2) 事由：役員が会務で使用するPCのウイルス対策を行うためウイルスソフトの法人契約を行い、理事、委員へ貸与することを検討する。

資料をもとに、「ウイルス貸与」・「役員が会務で使用するPCのウイルス対策を行うためウイルスソフトの法人契約を行い、理事、委員へ貸与することを検討する」について説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

2. 議案-2 名誉会員の承認

(1) 起案者：田中 宏 (会長)

(2) 事由：山本英明氏、田中武志氏の名誉会員としての承認

資料を基に説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

3. 議案-3 学術大会の優先予約について

(1) 起案者：城處 洋輔 (学術)

(2) 事由：ソニックシティの優先予約は3年先まで可能であり、国際会議室、市民ホール401～404、会議室501・502について下記の日程が現在空いている状況であり、優先予約の依頼をしたい。

資料を基に説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

4. 議案-4 第6回SART学術ナイトセミナーを開催について

(1) 起案者：中根 淳 (学術)

(2) 事由：本セミナーは、第1回より若手会員の技術向上と学術委員の講師育成を目的として、平日夜に学術委員会主催としてセミナーを開催したいと考えています。今回は、若手会員の技術向上を目的とし、テーマは造影としました。近年CTでは等閑になっている基礎的な造影技術の情報提供、MRは非造影検査におけるシーメンスやパラメータの選択に関して知識を深めてもらいたいと考え企画しました。新たな試みとして再放送を実施する予定です。

資料を基に説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

5. 議案-5 2021年度埼玉県診療放射線技師会決算承認について

- (1) 起案者：潮田 陽一（副会長）
- (2) 事由：2021年度決算の承認をいただきたい。  
資料を基に説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

6. 議案-6 監査報告書の承認について

- (1) 起案者：田中 宏（会長）
- (2) 事由：財務監査、業務監査の承認  
監査報告書について説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

7. 議案-7 新入会員の承認について

- (1) 起案者：今出 克利（総務）
- (2) 事由：新入会員の承認  
資料をもとに、説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

第8回理事会承認時（3/3）：会員数1394人

新入会	23人	2022年度累計	23人
再入会	4人	2022年度累計	4人
転入	3人	2022年度累計	3人
転出	3人	2022年度累計	3人
退会	1人	2022年度累計	1人

※第1回理事会承認後、会員数1388人

8. 議案-8 2021年度事業報告について

- (1) 起案者：田中 宏（会長）
- (2) 事由：2021年度事業の承認  
資料をもとに、説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

審議・承認事項まとめ

	タイトル	資料	意見	質問	審議結果	特記事項	議案書 No.
1	ウイルスソフト貸与について	ウイルス対策ソフト規程	0	0	承認	なし	理-1
2	名誉会員の承認	表彰歴	0	0	承認	なし	理-2
3	学術大会の優先予約について	なし	2	0	承認	なし	理-3
4	第6回SART学術ナイトセミナーを開催について	プログラム案・収支予算案	2	1	承認	なし	理-4
5	2021年度埼玉県診療放射線技師会決算承認について	2021年度財務諸表	0	0	承認	なし	理-5
6	監査報告書の承認について	監査報告書	0	0	承認	なし	理-6
7	新入会員の承認について	会員の動向	0	0	承認	なし	理-7
8	2021年度事業報告について	2021年度事業報告	0	0	承認	なし	理-8

配信資料（メール配信を含む）

- (1) 総務
- (2) 学術
- (3) 公益
- (4) 財務
- (5) 編集・情報
- (6) 各支部
- (7) 議案書

本会議の議決を証明するために、議事録署名人にお

いて署名捺印します。

2022年7月7日（木）

議事録署名人 田中 宏（押印略）  
堀江 好一（押印略）



## 2022年度 第2回理事会議事録（抄）

日 時：2022年7月7日（木）19：00～20：30

場 所：ZoomによるWeb会議

出席者：会 長：田中 宏

副 会 長：富田 博信、潮田 陽一

常務理事：今出 克利、八木沢英樹、

中根 淳、清水 邦昭、

佐々木 健、

理 事：肥沼 武司、滝口 泰徳、

近藤 敦之、吉田 敦、

紀陸 剛志、双木 邦博、

大西 圭一、市川 隆史、

大野 涉

事務局長：結城 朋子

監 事：堀江 好一

顧 問：小川 清

欠 席：城處 洋輔、茂木 雅和、

矢崎 一郎、浅野 克彦、

鈴木 正人、戸澤 茜

### 第1. 議事録作成、議事録署名人の選出について

議 長：田中 宏

議事録署名人：田中 宏、潮田 陽一

議事録作成：八木沢英樹 と定めた。

### 第2. 報告および確認事項

#### 1. 会長（田中）

- (1) 関東甲信越学術大会（群馬県）参加報告を行った。

RIの国内生産を検討している。

- (2) 埼玉県臨床検査技師会とコラボレーション企画を開催する予定である。

講演会の司会を行う。

#### 2. 副会長（富田）

- (1) 6月11日（土）に、日本診療放射線技師会、第84回定期総会（役員選挙）が開催された。

富田副会長は理事、小川顧問が監事となった。

- (2) 文部科学省から小学生を対象とした授業「放射線教育の放射線風評被害など」を日本診療放射線技師会に依頼があり、埼玉県から田中会長、佐々木常務理事、石田委員（公益）を講師に推

薦した。

- (3) JART会誌掲載「放射線の生物影響」（計10回掲載予定）：最新情報が掲載されているので、ぜひ、情報共有していただきたい。

#### 3. 副会長（潮田）

- (1) 役員および委員を対象とした傷害保険の更新について

見積金額は13万6千円であった。

- (2) 事務所コピー機更新について

経費：年間3万円

#### 4. 総務（今出）

- (1) 第35回SART学術大会、最優秀演題賞および優秀演題賞の賞状送付について

ア. 該当者3人に対して、賞状を作成し、記念品を準備した。

イ. 6月3日（金）に郵送した。

- (2) 胸部認定および上部消化管検査認定の認定証送付について

ア. 胸部認定者8人、上部消化管認定者2人に対して、賞状を作成した。

イ. 6月3日（金）に郵送した。

- (3) 済生会加須病院の移設に伴い、所属技師の支部移動について

ア. 済生会加須病院、所属長の宝田氏および第五支部矢崎理事、第六支部茂木理事とメール審議を行い、そのまま第五支部として活動していくことに決定した。

- (4) 総会運営委員会を開催

ア. 日時：2022年6月10日（金）19：00～20：00

イ. 会場：ZoomによるWeb会議

ウ. 添付資料①：第2回総会運営委員会 議事録

- (5) 第11回定期総会を開催

ア. 日時：2022年6月12日（日）

イ. 会場：埼玉会館 4階4A会議室 およびオンライン配信

ウ. 出席者：24人

エ. 添付資料②：第11回定期総会 開催報告

- (6) 第6回学術ナイトセミナーの委嘱状の発送につ



いて

ア. 該当者2人に対して、委嘱状を作成した。(公印番号4-8)

イ. 6月14日(火)に郵送した。

(7) CT認定の認定証送付について

ア. CT認定者12人に対して、賞状を作成した。

イ. 6月16日(木)に郵送した。

「輝度調整だけで大丈夫? 臨床に適した画像処理選択の基本」

フレッシュャーズセミナー

基準撮影法2における撮影と透視観察の標準化

(イ) 技術解説: PDRファーマ株式会社

(ウ) 総会資料

イ. 会誌埼玉放射線10月270号 締め切り9月1日(木)

(ア) 内容

編集情報委員企画

技術解説: GEヘルスケアジャパン株式会社

(2) 委員会開催

第1回編集情報委員会 2022年6月3日(金)

第2回編集情報委員会 2022年未定

(3) 会誌発行部数 1550部

e-book 5月号にてご案内とID、パスワードを掲載

6. 編集情報(吉田)

(1) ホームページ

ア. Webサイト 掲載および更新(会員用)

(ア) SART e-bookシステムリンク作成

(イ) 第6回 SART 学術ナイトセミナー ~CT・MR Angiographyのワンポイントアドバイス~

(ウ) SART 第11回総会資料 正誤表

(エ) 第4回乳房画像研究会講習会 マンモグラフィのポジショニングについて考えよう

(オ) 会誌バックナンバー264号掲載

(カ) 第63回 埼玉消化管撮影研究会 開催案内

(キ) 2022年度診療放射線技師基礎技術講習(埼玉県) 一般撮影講習会のお知らせ

(2) Webサイト 掲載および更新(一般用)

ア. 会誌バックナンバー264号掲載

(3) メールマガジン

ア. メールマガジン登録2件

イ. メールマガジンNo116配信

7. 学術(城處)

報告事項なし

8. 学術(中根)

「学術ナイトセミナー」広報のお願い

2022年度の会議予定

日時	イベント名	備考欄
2022/ 7/ 7(木)	第2回理事会	
2022/ 7/28(木)	第3回常務連絡会	
2022/ 8/ 4(木)	第3回理事会	
2022/ 8/25(木)	第4回常務連絡会	
2022/ 9/ 1(木)	第4回理事会	
2022/10/ 6(木)	第2回常務理事会	
2022/10/27(木)	第5回常務連絡会	
2022/11/10(木)	第5回理事会	祭日のため スライド
2022/12/ 1(木)	第3回常務理事会	
2022/12/29(木)	第6回常務連絡会	
2023/ 1/ 5(木)	第6回理事会	
2023/ 2/ 2(木)	第4回常務理事会	
2023/ 2/22(水)	第7回常務連絡会	祭日のため スライド
2023/ 3/ 2(木)	第8回理事会	

4. 総務(八木沢)

報告事項なし

5. 編集情報(清水)

(1) 会誌

ア. 会誌埼玉放射線7月269号

再校正中

(ア) 内容

特集

第35回埼玉県診療放射線技師学術大会

後抄録集

最優秀演題賞

優秀演題賞

優秀演題賞

フレッシュャーズセミナー

「標準撮影から一歩先へ」~追加撮影を理解しよう~

フレッシュャーズセミナー

9. 財務（肥沼）

- (1) 6月13日（月）公益インフォメーションに2021年度事業報告書類を提出
- (2) 6月14日（火）旧sart役員のメールアドレス削除（27人分）
- (3) ウイルスソフトの見積もりを請求（50端末分）
- (4) 今後の予定  
公益インフォメーションに2021年度事業報告書類の修正依頼が届き次第対応する。

(2) 勉強会をオンラインで開催する予定である。

- ア. 日時：2022年9月29日（木）
- イ. 内容：未定

10. 公益（佐々木）

- (1) 被ばく相談  
4月）1件（5月中旬終了）
- (2) 2022年度事業予定
  - ア. リレーフォーライフ2022
  - イ. HPからの被ばく相談
  - ウ. 被ばく相談事例検討会
  - エ. 放射線特別授業（理解しよう、3DWS人体解剖学体験）
  - オ. 放射線防護関連勉強会

17. 第五支部（矢崎）

報告事項：なし

18. 第六支部（茂木）

報告事項：なし

11. 公益（紀陸）

報告事項なし

12. 第一支部（双木）

報告事項なし

13. 第二支部（大西）

報告事項なし

14. 第三支部（市川）

- (1) 第1回支部役員会を開催
  - ア. 日時：2022年6月4日（土）
  - イ. 場所：Web会議
  - ウ. 参加人数：4人
  - エ. 内容：年間予定打ち合わせ、役員担当決定など

第3. 審議・承認事項

- 1. 議案-9 「夢を見つける！リアル体験教室 あこがれの職業を体験しよう！」  
主催：埼玉県・青少年育成埼玉県民会議 の参加について

(1) 起案者：佐々木 健（公益）

(2) 事由：小学4～6年生を対象にさまざまな職業を体験して知ってもらうイベントがある。

看護師をはじめ、臨床工学技士や薬剤師、管理栄養士などの医療にかかわる職種の参加も多く、診療放射線技師を知っていただくのに良い機会である。

SARTは3DWSによる人体解剖学体験のノウハウがあり、学術大会公開講座においても小学生への対応も経験していることから、取り組みやすいと考えたため、本イベントへの参加について審議していただきたい。実施は2023年度以降を予定している。

資料をもとに説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

- 2. 議案-10 2023年秋 叙勲候補者の選出について

(1) 起案者：田中 宏（会長）

(2) 事由：堀江好一氏を叙勲候補者として推薦したい。

資料をもとに、説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

- 3. 議案-11 新入会員の承認について

(1) 起案者：今出 克利（総務）

(2) 事由：新入会員の承認

15. 第四支部（大野）

- (1) 役員会議を開催
  - ア. 日時：2022年6月3日（金） 19：00～19：30
  - イ. 内容：今後の活動予定について
  - ウ. 参加者：7人

資料をもとに、説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

新入会	20人	2022年度累計	43人
再入会	3人	2022年度累計	7人
転入	3人	2022年度累計	6人
転出	1人	2022年度累計	4人
退会	0人	2022年度累計	0人

※第2回理事会承認後、会員数1,410人

## 審議・承認事項まとめ

	タイトル	資料	意見	質問	審議結果	特記事項	議案書 No.
1	「夢を見つける！リアル体験教室 あこがれの職業を体験しよう！」への参加について	あり	0	0	承認	なし	理-9
2	令和5年秋 叙勲候補者の選出について	あり	0	1	承認	なし	理-10
3	新入会員の承認について	あり	0	1	承認	なし	理-11

## 配信資料（メール配信を含む）

- (1) 総務
- (2) 学術
- (3) 公益
- (4) 財務
- (5) 編集・情報
- (6) 各支部
- (7) 議案書

本会議の議決を証明するために、議事録署名人において署名捺印します。

2022年8月4日（木）

議事録署名人 田中 宏（押印略）  
潮田 陽一（押印略）

## 2022年度 第3回理事会議事録（抄）

日 時：2022年8月4日（木）19：00～20：30

場 所：ZoomによるWeb会議

出席者：会 長：田中 宏

副 会 長：富田 博信、潮田 陽一

常務理事：今出 克利、八木沢英樹、

城處 洋輔、中根 淳、

清水 邦昭、佐々木 健

理 事：肥沼 武司、滝口 泰徳、

近藤 敦之、吉田 敦、

紀陸 剛志、大西 圭一、

市川 隆史、大野 渉、

矢崎 一郎、茂木 雅和

監 事：堀江 好一、浅野 克彦

顧 問：小川 清

欠 席：双木 邦博、結城 朋子、

鈴木 正人、戸澤 茜

### 第1. 議事録作成、議事録署名人の選出について

議 長：田中 宏

議事録署名人：田中 宏、潮田 陽一

議事録作成：八木沢英樹 と定めた。

### 第2. 報告および確認事項

#### 1. 会長（田中）

(1) イベントポータルサイト（JARTが各県から依頼を受け作成）運営を企画している。

ア. 各都道府県で開催するイベント（学術大会、講習会など）の登録・支払い管理などを行える。

イ. 埼玉県診療放射線技師会としては、今回は参加を見送ることとした。

(2) 日本診療放射線技師会75周年式典に参加した。

(3) 「国際学会参加サポート」を埼玉県診療放射線技師会として検討している。

ア. 海外発表を考えている会員を積極的にサポートして行きたい。

#### 2. 副会長（富田）

(1) STAT画像読影認定技師（案）の新設を日本診療放射線技師会で検討している。

ア. 日本医学放射線学会と協同して進める予定で

ある。

(2) 日本診療放射線技師会75周年式典が開催した。

ア. 田中会長が「厚生労働大臣表彰」を授章された。

#### 3. 副会長（潮田）

(1) 顧問税理士の月次監査を受けた。

ア. 日程：2022年6月29日（水）2022年7月17日（日）

(2) 役員へ会議費などの支払いを順次行っている。

#### 4. 総務（今出）

報告事項：なし

### 2022年度会議予定

日時	イベント名	備考欄
2022/ 8/ 4 (木)	第3回理事会	
2022/ 8/25 (木)	第4回常務連絡会	
2022/ 9/ 1 (木)	第4回理事会	
2022/10/ 6 (木)	第2回常務理事会	
2022/10/27 (木)	第5回常務連絡会	
2022/11/10 (木)	第5回理事会	祭日のため スライド
2022/12/ 1 (木)	第3回常務理事会	
2022/12/29 (木)	第6回常務連絡会	
2023/ 1/ 5 (木)	第6回理事会	
2023/ 2/ 2 (木)	第4回常務理事会	
2023/ 2/22 (水)	第7回常務連絡会	祭日のため スライド
2023/ 3/ 2 (木)	第8回理事会	

#### 5. 総務（八木沢）

報告事項なし

#### 6. 編集情報（清水）

(1) 会誌

ア. 会誌埼玉放射線7月269号  
発送済み

(ア) 内容「特集」

第35回埼玉県診療放射線技師学術大会  
後抄録集  
最優秀演題賞

- 優秀演題賞  
 優秀演題賞  
 フレッシュャーズセミナー  
 「標準撮影から一歩先へ」～追加撮影を理解しよう～  
 フレッシュャーズセミナー  
 「輝度調整だけで大丈夫？臨床に適した画像処理選択の基本」  
 フレッシュャーズセミナー  
 基準撮影法2における撮影と透視観察の標準化  
 (イ) 技術解説：PDRファーマ株式会社  
 (ウ) 総会資料  
 イ. 会誌埼玉放射線10月270号 締め切り9月1日(木)  
 (ア) 内容  
 編集情報委員企画  
 技術解説：GEヘルスケアジャパン株式会社
- (2) 委員会開催  
 第1回編集情報委員会 2022年6月3日(金)  
 第2回編集情報委員会 2022年未定
- (3) 会誌発行部数 1550部  
 e-book 5月号にてご案内とID、パスワードを掲載
6. 編集情報(吉田)  
 (1) ホームページ  
 ア. Webサイト 掲載および更新(会員用)  
 (ア) 告示研修(実技研修)開催のお知らせ  
 (イ) 第18回GE DWIBS研究会  
 (ウ) 第10回埼玉県大腸CT研究会  
 (2) メールマガジン  
 ア. メールマガジン登録1件
7. 学術(城處)  
 (1) 2022年度 第2回学術委員会を開催した。  
 ア. 日時：2022年7月15日(金)  
 イ. 会場：ZoomによるWeb会議  
 ウ. 添付資料：第2回学術委員会議事録(添付資料①)  
 (2) 放射線技師基礎技術講習「一般撮影」を開催予定である。  
 ア. 日時：2022年8月28日(日)  
 イ. 会場：ソニックシティ 会議室602
- (3) 告示研修(実技研修)を開催予定である。  
 ア. 日時：2022年9月25日(日)  
 イ. 会場：済生会川口総合病院 東館B1講堂
8. 学術(中根)  
 報告事項なし
9. 財務(肥沼)  
 (1) 報告事項  
 ア. セキュリティソフト請求(端末数58台分)：7月13日(水)  
 イ. セキュリティソフト納入、各理事に案内：7月26日(火)  
 ウ. 各委員会・理事会の転送用メール作成：7月27日(水)  
 (2) 公益インフォメーション  
 ア. 2021年度事業報告書類の修正依頼の修正依頼が届き次第対応する。
10. 公益(佐々木)  
 (1) 被ばく相談  
 ア. 6月) 0件  
 イ. 7月) 0件  
 (2) 2022年度第1回公益委員会を開催した。  
 ア. 日時：2022年7月8日(金)  
 イ. 場所：技師会事務所  
 ウ. 参加者：佐々木、紀陸、石田、大河原、佐藤、宮崎、坂庭
11. 公益(紀陸)  
 報告事項なし
12. 第一支部(双木)  
 報告事項なし
13. 第二支部(大西)  
 報告事項なし
14. 第三支部(市川)  
 報告事項なし
15. 第四支部(大野)  
 8月にオンライン講習会を開催予定である。



17. 第五支部 (矢崎)  
報告事項：なし

18. 第六支部 (茂木)  
報告事項：なし

### 第3. 審議・承認事項

1. 議案-12 2022年度 救急撮影ケーススタディのWeb開催について

開催予定日：2023年1月20日 (金)

(1) 起案者：滝口 泰徳 (学術)

(2) 事由：救急撮影ケーススタディとして計7回開催している。今回もWeb開催を予定していますが、Zoomのブレイクアウトルーム機能を用い、救急撮影ケーススタディ本来のグループワークをメインとした内容で企画した。

資料をもとに、説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

2. 議案-13 2022年度 上部消化管検査 認定講習会の開催について

開催予定日：2023年1月22日 (日)

(1) 起案者：近藤 敦之 (学術)

(2) 事由：新型コロナウイルス感染拡大の観点から、2022年度もZoom を利用したオンライン形式にて上部消化管検査認定講習会の開催を企画した。講義内容は日本診療放射線技師会の基礎技術講習会「消化管撮影」の学習カリキュラムにのっとり行う予定である。

資料をもとに、説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

3. 議案-14 第20回胸部認定講習会の開催について

開催予定日：2022年11月27日 (日)

(1) 起案者：滝口 泰徳 (学術)

(2) 事由：昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮したWeb開催にて講習会を行う。認定試験は、別途Webにて行う。内容および講師陣は前回同様である。

資料をもとに、説明があり、審議の結果、賛成多数

で承認された。

4. 議案-15 第36回埼玉県診療放射線技師学術大会の開催および大会テーマについて

開催予定日：2023年3月5日 (日)

(1) 起案者：城處 洋輔 (学術)

(2) 事由：第36回埼玉県診療放射線技師学術大会について、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、ハイブリッド形式(感染状況によっては完全オンライン形式)にて開催したい。

大会テーマについては、『診療放射線技師の次なるステージを目指して』を候補とさせていただきました。また、例年の予算に追加して、Web配信の安定性を考慮し光ケーブルの工事を依頼したい。

資料をもとに、説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

5. 議案-16 新入会員の承認について

(1) 起案者：今出 克利 (総務)

(2) 事由：新入会員の承認

#### 会員の動向まとめ

新入会	10人	2022年度累計	53人
再入会	0人	2022年度累計	7人
転入	2人	2022年度累計	8人
転出	1人	2022年度累計	5人
退会	1人	2022年度累計	1人

※第3回理事会承認後、会員数：1,419人

資料をもとに、説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

## 審議・承認事項まとめ

	タイトル	資料	意見	質問	審議結果	特記事項	議案書 No,
1	2022年度救急撮影ケーススタ ディのWeb開催について	あり	1	0	承認	なし	理-12
2	2022年度 上部消化管検査 認定講習会の開催について	あり	0	0	承認	なし	理-13
3	第20回胸部認定講習会の開催 について	あり	0	0	承認	なし	理-14
4	第36回埼玉県診療放射線技師 学術大会の開催および大会テー マについて	あり	2	1	承認	なし	理-15
5	新入会員の承認について	あり	0	0	承認	なし	理-16

## 配信資料（メール配信を含む）

- (1) 総務
- (2) 学術
- (3) 公益
- (4) 財務
- (5) 編集・情報
- (6) 各支部
- (7) 議案書

本会議の議決を証明するために、議事録署名人にお  
いて署名捺印します。

2022年9月1日（木）

議事録署名人 田中 宏（押印略）  
潮田 陽一（押印略）



## 役員名簿

### 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

#### 2021・2022 年度役員名簿

役員名簿

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
会長	田中 宏	埼玉県立小児医療センター	048-601-2200	h-tanaka@sart.jp
副会長	富田 博信	済生会川口総合病院	048-253-1551	h-tomita@sart.jp
副会長	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
常務理事(学術)	城處 洋輔	済生会川口総合病院	048-253-1551	y-kidokoro@sart.jp
常務理事(学術)	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	j-nakane@sart.jp
常務理事(総務)	今出 克利	大宮医師会	048-663-5633	k-imade@sart.jp
常務理事(総務)	八木沢英樹	JCHO 東京蒲田医療センター	03-3738-8221	h-yagisawa@sart.jp
常務理事(公益)	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
常務理事(編集・情報)	清水 邦昭	深谷赤十字病院	048-571-1511	k-shimizu@sart.jp
理事(財務)	肥沼 武司	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	t-koinuma@sart.jp
理事(学術)	近藤 敦之	埼玉医科大学病院	0492-76-1264	a-kondo@sart.jp
理事(学術)	滝口 泰徳	JCHO 船橋中央病院	047-433-2111	y-takiguchi@sart.jp
理事(編集・情報)	吉田 敦	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	a-yoshida@sart.jp
理事(公益)	紀陸 剛志	埼玉医科大学病院	049-276-1264	takashi-kiroku@sart.jp
第一支部理事	双木 邦博	さいたま市立病院	048-873-4111	k-namiki@sart.jp
第二支部理事	大西 圭一	所沢ハートセンター	042-940-8611	k-onishi@sart.jp
第三支部理事	市川 隆史	埼玉医科大学病院	049-276-1264	takafumi-ichikawa@sart.jp
第四支部理事	大野 渉	羽生総合病院	048-562-3000	wataru-ohno@sart.jp
第五支部理事	矢崎 一郎	春日部市立医療センター	048-735-1261	i-yazaki@sart.jp
第六支部理事	茂木 雅和	上尾中央総合病院	048-773-1111	masakazu-motegi@sart.jp

#### 事務局

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
事務局長	結城 朋子	済生会川口総合病院	048-253-1551	t-yuuki@sart.jp

#### 監事・顧問

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
監事	堀江 好一	JCHO さいたま北部医療センター	048-663-1671	k-horie@sart.jp
監事	浅野 克彦	参議院議員秘書		katsuhiko-asano@sart.jp
顧問	小川 清	群馬パース大学		k-ogawa@sart.jp
顧問	鈴木 正人	埼玉県県会議員		m-suzuki@sart.jp
顧問税理士	増田 利治	増田利治税理士事務所	048-649-1386	

#### 総務・財務委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	今出 克利	大宮医師会	048-663-5633	k-imade@sart.jp
副委員長	八木沢英樹	JCHO 東京蒲田医療センター	03-3738-8221	h-yagisawa@sart.jp
副委員長	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	y-ushioda@sart.jp
委員	結城 朋子	済生会川口総合病院	048-253-1551	t-yuuki@sart.jp
委員	肥沼 武司	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	t-koinuma@sart.jp
委員	双木 邦博	さいたま市立病院	048-873-4111	k-namiki@sart.jp
委員	大西 圭一	所沢ハートセンター	042-940-8611	k-onishi@sart.jp
委員	市川 隆史	埼玉医科大学病院	0492-76-1264	takafumi-ichikawa@sart.jp
委員	大野 渉	羽生総合病院	048-562-3000	wataru-ohno@sart.jp
委員	矢崎 一郎	春日部市立医療センター	048-735-1261	i-yazaki@sart.jp
委員	茂木 雅和	上尾中央総合病院	048-773-1111	masakazu-motegi@sart.jp
委員	田中 達也	小川赤十字病院	0493-72-2333	yt-tanaka@sart.jp
委員	矢部 智	越谷市立病院	048-956-2221	s-yabe@sart.jp
委員	佐々木 剛	埼玉医科大学病院	049-276-1264	tsuyoshi-sasaki@sart.jp
委員	岡田 尚也	さいたま赤十字病院	048-852-1111	naoya-okada@sart.jp
委員	福田 葉	さいたま市立病院	048-873-4111	shiori-fukuda@sart.jp
委員	戸澤 茜	埼玉県診療放射線技師会 事務局	048-664-2728	akane-tozawa@sart.jp

## 役員名簿

### 学術委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	城處 洋輔	済生会川口総合病院	048-253-1551	y-kidokoro@sart.jp
副委員長	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	j-nakane@sart.jp
副委員長	近藤 敦之	埼玉医科大学病院	0492-76-1264	a-kondo@sart.jp
副委員長	滝口 泰徳	JCHO 船橋中央病院	047-433-2111	y-takiguchi@sart.jp
委員	今出 克利	大宮医師会	048-663-5633	k-imade@sart.jp
委員	寺澤 和晶	さいたま赤十字病院	048-852-1111	kazuaki-terasawa@sart.jp
委員	土田 拓治	済生会川口総合病院	048-253-1551	t-tsuchida@sart.jp
委員	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
委員	伊藤 寿哉	埼玉石心会病院	04-2953-6611	t-ito@sart.jp
委員	大根田 純	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	jun-oneda@sart.jp
委員	亀山 枝里	熊谷総合病院	048-521-0065	eri-kameyama@sart.jp
委員	妹尾 大樹	埼玉医科大学国際医療センター	042-984-7702	taiki-senoo@sart.jp
委員	浅見 純一	行田中央総合病院	048-553-2000	jyunichi-asami@sart.jp
委員	吉澤 孝郁	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	takafumi-yoshizawa@sart.jp
委員	戸澤 僚太	済生会川口総合病院	048-253-1551	ryouta-tozawa@sart.jp
委員	新島 正美	熊谷生協病院	048-524-3841	masami-niijima@sart.jp

### 編集・情報委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	清水 邦昭	深谷赤十字病院	048-571-1511	k-shimizu@sart.jp
副委員長	吉田 敦	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	a-yoshida@sart.jp
委員	宮崎 雄二	北里大学メディカルセンター	048-593-1212	y-miyazaki@sart.jp
委員	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
委員	肥沼 武司	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	t-koinuma@sart.jp
委員	大友 哲也	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	t-otomo@sart.jp
委員	渡部 伸樹	さいたま赤十字病院	048-852-1111	nobuki-watanabe@sart.jp
委員	堀越 隆之	大宮シテイクリニック	048-645-1256	takayuki-horikoshi@sart.jp
委員	八木沢英樹	JCHO 東京蒲田医療センター	03-3738-8221	h-yagisawa@sart.jp

### 公益委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
副委員長	紀陸 剛志	埼玉医科大学病院	049-276-1264	takashi-kiroku@sart.jp
委員	志藤 正和	済生会川口総合病院	048-253-1551	m-shito@sart.jp
委員	内海 将人	済生会栗橋病院	0480-52-3611	m-uchiumi@sart.jp
委員	石田 仁子	白岡中央総合病院	0480-93-0661	kimiko-ishida@sart.jp
委員	石川 里紗	深谷赤十字病院	048-571-1511	risa-sakamoto@sart.jp
委員	大河原侑司	さいたま赤十字病院	048-852-1111	yuji-okawara@sart.jp
委員	佐藤 克哉	埼玉県立小児医療センター	048-601-2200	katsuya-sato@sart.jp
委員	宮崎 千晶	埼玉医科大学国際医療センター	042-984-0089	chiaki-miyazaki@sart.jp
委員	嶋崎 恭介	上尾中央総合病院	048-773-1111	kyousuke-shimasaki@sart.jp
委員	坂庭 琴美	上尾中央総合病院	048-773-1111	kotomi-sakaniwa@sart.jp



## 正 会 員 入 会 申 込 書

年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会長殿

私は貴会の目的に賛同し、下記により入会を申し込みます。

フリガナ		性 別 男・女	生 年 月 日 西 暦 年 月 日
氏 名			

<p>1. 2. それぞれに○をつけご回答ください</p> <p>1. 今回の入会は [<input type="checkbox"/>新入会 <input type="checkbox"/>再入会 <input type="checkbox"/>転入]</p> <p>2. <input type="checkbox"/>日本診療放射線技師会&amp;埼玉県診療放射線技師会へ入会 <input type="checkbox"/>埼玉県診療放射線技師会のみ入会</p>	転入前の 所属技師会	
---	---------------	--

フリガナ	TEL	—	—
勤務先名			
フリガナ	〒		
勤務先住所			
フリガナ	〒	TEL	— —
自宅住所			
E-mail (携帯不可)			

## 正会員入会申し込み

会誌送付先	① 勤務先      ② 自宅	所属支部（地区）
-------	-----------------	----------

診療放射線 技師免許	国家試験	第                  回                  合格
	登録	第                  号                  年          月          日          登録

免許取得の 学歴	入学年月日	西暦                  年                  月
	卒業年月日	西暦                  年                  月
	学校	

関連分野の 最終学歴	学位	ある                  なし
	学位記番号	
	授与年月	
	授与機関	

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会  
 〒331-0812 さいたま市北区宮原町 2-51-39  
 TEL 048-664-2728  
 FAX 048-664-2733

退会届

年 月 日

会員番号	日本診療放射線技師会
	埼玉県診療放射線技師会
会員名	印
退会理由	
退会希望日	年 月 日
会費納入状況	年度分まで納入済み

注 1) 規程により、埼玉県診療放射線技師会を退会すると日本診療放射線技師会も同時に退会となります。

注 2) 滞納している会費がある場合にはお支払いください。

※重要 注 3) 退会時には必ず会員番号をご記入ください。  
 記載がない場合、退会処理に時間がかかり、希望日に間に合わない場合があります。

決算処理

埼放技	
日放技	

# FAX申し込み

会員異動届

## ファックス送信票

下記の通り送信致しますので、よろしくお願ひ致します。

受信者	FAX番号：048-664-2733 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
送信者	氏名 _____
	施設名 _____
	〒 _____ 施設住所 _____

\* 郵送の場合

〒331-0812 さいたま市北区宮原町2丁目51番地39

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

電話：048-664-2728

## 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会員登録変更届

年 月 日

ふりがな 届出会員名		支部名	支部
技師会番号			

①転出者は正確にご記入ください

転出先	( ) 県へ転出	技師会費を ( ) 年度まで納入
-----	----------	------------------

印

②変更した項目をご記入ください

変更項目	ふりがな 自宅住所	〒 - TEL - -
	ふりがな 勤務先名	
	ふりがな 勤務先住所	〒 - TEL - -
	ふりがな 改 姓	
	支部変更	第 ( ) 支部を第 ( ) 支部に
	連絡先変更	

# 年間スケジュール

## 2022年度

埼玉県診療放射線技師会  
日本診療放射線技師会など

# 年間スケジュール表

年間スケジュール

2022年度(10-12) 予定									
10月		埼玉放技	日放技など	11月		埼玉放技	日放技など	12月	
1	土			1	火			1	木
2	日			2	水			2	金
3	月			3	木			3	土
4	火			4	金			4	日
5	水			5	土			5	月
6	木			6	日			6	火
7	金			7	月			7	水
8	土			8	火			8	木
9	日			9	水			9	金
10	月			10	木			10	土
11	火			11	金	第7回 DR計測セミナー		11	日
12	水			12	土			12	月
13	木			13	日			13	火
14	金			14	月			14	水
15	土			15	火			15	木
16	日			16	水			16	金
17	月			17	木			17	土
18	火			18	金			18	日
19	水			19	土			19	月
20	木			20	日	第13回CT認定講習会		20	火
21	金			21	月			21	水
22	土			22	火			22	木
23	日			23	水			23	金
24	月			24	木			24	土
25	火			25	金			25	日
26	水			26	土		告示研修 (実技研修)開催	26	月
27	木			27	日	第20回胸部認定講習会 Web		27	火
28	金			28	月			28	水
29	土			29	火			29	木
30	日			30	水			30	金
31	月							31	土

2022年度(1-3) 予定									
1月		埼玉放技	日放技など	2月		埼玉放技	日放技など	3月	
1	日			1	水			1	水
2	月			2	木			2	木
3	火			3	金			3	金
4	水			4	土			4	土
5	木			5	日			5	日
6	金			6	月			6	月
7	土			7	火			7	火
8	日			8	水			8	水
9	月			9	木			9	木
10	火			10	金			10	金
11	水			11	土			11	土
12	木			12	日			12	日
13	金			13	月			13	月
14	土			14	火			14	火
15	日	乳腺セミナー開催		15	水			15	水
16	月			16	木			16	木
17	火			17	金			17	金
18	水			18	土	第4回SART被ばく 相談事例検討会		18	土
19	木			19	日			19	日
20	金	救急撮影ケーススタディ Web開催		20	月			20	月
21	土			21	火			21	火
22	日	第20回上部消化管検査認 定講習会 開催	告示研修 (実技研修)開催	22	水			22	水
23	月			23	木			23	木
24	火			24	金			24	金
25	水	放射線被ばくに関する 講習会		25	土			25	土
26	木			26	日		告示研修 (実技研修)開催	26	日
27	金			27	月			27	月
28	土			28	火			28	火
29	日							29	水
30	月							30	木
31	火							31	金





## 広告協賛会社一覧 (順不同)

No.	会社名	郵便番号	住所	電話
1	株式会社メディカルクリエート	330-0854	さいたま市大宮区桜木町2-403ほていやビル3階	048-782-7424
2	日本放射線防衛株式会社	113-0033	東京都文京区本郷2-38-12	03-3811-1158
3	株式会社メディカル・サービス T&K	362-0001	上尾市上1710-3	048-777-7021
4	バイエル薬品株式会社	330-0843	さいたま市大宮区吉敷町1-75-1太陽生命大宮吉敷ビル7階	048-640-6027
5	日本メジフィジックス株式会社	136-0075	東京都江東区新砂3-4-10	03-5634-7450
6	富士フィルムメディカル株式会社	330-0842	さいたま市大宮区浅間町2-240	048-645-6001
7	GEヘルスケア・ジャパン株式会社	330-0845	さいたま市大宮区仲町3-13-1住友生命第2ビル1階	048-614-9950
8	株式会社三田屋製作所	350-0833	埼玉県川越市芳野台2-8-12	049-298-8017
9	富士製薬工業株式会社	102-0094	東京都千代田区三番町5番地7	03-3264-2211
10	PDR ファーマ株式会社	104-0031	東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビル	03-3538-3621
11	キヤノンメディカルシステムズ株式会社	331-8701	さいたま市北区土呂町1-45-10	048-651-9290
12	コニカミノルタジャパン株式会社	105-0023	東京都港区芝浦1-1-1	03-6324-1080
13	シーメンスヘルスケア株式会社	141-8644	東京都品川区大崎1丁目1番1号ゲートシティ大崎ウエストタワー5階	03-3493-7500
14	富士フィルムヘルスケア株式会社	330-0812	埼玉県さいたま市北区宮原町4-17-22	048-661-8500

## 広告索引

### 造影剤関係

富士製薬工業株式会社	5
バイエル薬品株式会社	2

### アイトープ関係

PDR ファーマ株式会社	6
日本メジフィジックス株式会社	3

### フィルム関係

富士フィルムメディカル株式会社	4
-----------------	---

### 機器関係

株式会社メディカル・サービス T&K	1
キヤノンメディカルシステムズ株式会社	2
GEヘルスケア・ジャパン株式会社	4
株式会社三田屋製作所	6
コニカミノルタジャパン株式会社	7
シーメンスヘルスケア株式会社	3
富士フィルムヘルスケア株式会社	5

### 施設工事関係

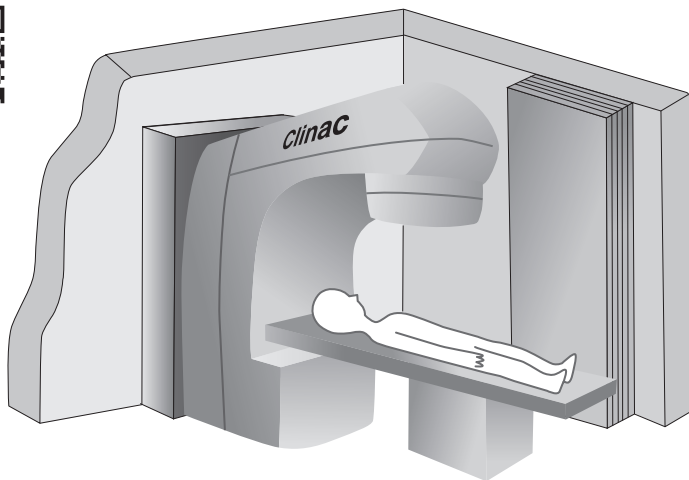
日本放射線防衛株式会社	1
-------------	---

### PACS サービス関係

株式会社メディカルクリエート	表3
----------------	----

# 放射線施設等の設計、施工、維持管理

- リニアック、CT・MRI・RI検査室建造など
- 鉛、RC等の放射線遮へい工事
- 電波・磁気シールド工事
- 空調、電気、給排水設備工事
- 医療法、電離則に基づく法定測定



## 最近の施工施設 (全国)

国立病院北海道がん	慶應大学病院
秋田大学病院	名古屋大学病院
東北大学病院	大阪大学病院
埼玉県立がんセンター	九州大学病院
国立がん研究センター中央病院	琉球大学病院

など多数



## 日本放射線防衛株式会社

国土交通大臣許可 (特-28) 第21807号  
高度管理医療機器等販売業・貸与業

本社 / 〒590-0074 堺市堺区北花田口町3丁目2番10号 TEL072-232-0741 ・ FAX072-223-7393  
 東京支店 / 〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目38番12号 TEL03-3811-1158 ・ FAX03-3811-1046  
 名古屋支店 / 〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目32番20号 TEL052-269-9130 ・ FAX052-269-9133

U R L [<http://www.nippoh-net.co.jp>]

## ケアストリーム Vue クラウド

A Smarter way to collaborate for enhanced patient care.



SIMPLE.  
SCALABLE.  
COMPLETE  
CONTROL.

A SMARTER WAY FORWARD.



株式会社 メディカル・サービス T & K

本社 〒362-0001 埼玉県上尾市上1710-3  
 ☎(048)777-7021 FAX(048)777-7023  
 経営管理本部 〒362-0014 埼玉県上尾市本町2-4-15  
 E-mail tandk@est.hi-ho.ne.jp

ケアストリームヘルス株式会社

東京 〒135-0041 東京都江東区冬木11-17 イシマビル ☎(03)5646-2500  
 札幌 ☎(011)252-8072 仙台 ☎(022)292-1667 名古屋 ☎(0561)64-2755  
 大阪 ☎(06)6534-7090 福岡 ☎(092)413-8460  
<http://www.carestream.jp>



# Canon

## すべては患者さんのために。

世界が直面する医療を取り巻く環境は日々変化し、多くの課題があります。私たちは、医療現場を総合的にサポートしながらともに成長していくことを目指します。

これからも医療のさらなる発展と人々の健やかで安心できる暮らしに貢献します。

### Made possible.

*Made For life*

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>



## より良い明日へ

患者さんとそのご家族の「満たされない願い」に応えるため、革新的な新薬をいち早くお届けすることが私たちの使命です。医薬品の開発を通じて人々のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献していきます。

バイエル薬品株式会社 <https://byl.bayer.co.jp/>

Science for a better life

PP-GEN-JP-0061-03-07

X線CT装置

SOMATOM go.Top

# Lead to the top expanding clinical demand

[www.siemens-healthineers.com/jp](http://www.siemens-healthineers.com/jp)



SIEMENS  
Healthineers

全身用X線CT診断装置 ソマトム go Top/All 認証番号: 230AAB2X00028000

nihon  
medi+physics

処方箋医薬品<sup>注)</sup>  
放射性医薬品・骨疾患診断薬

薬価基準収載

# クリアボーン<sup>®</sup>注

放射性医薬品基準ヒドロキシメチレンジホスホン酸  
テクネチウム (<sup>99m</sup>Tc) 注射液

注) 注意・医師等の処方箋により使用すること

\*効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は添付文書をご参照ください。

資料請求先  
日本メジフィジックス株式会社  
〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号  
製品に関するお問い合わせ先 ☎ 0120-07-6941

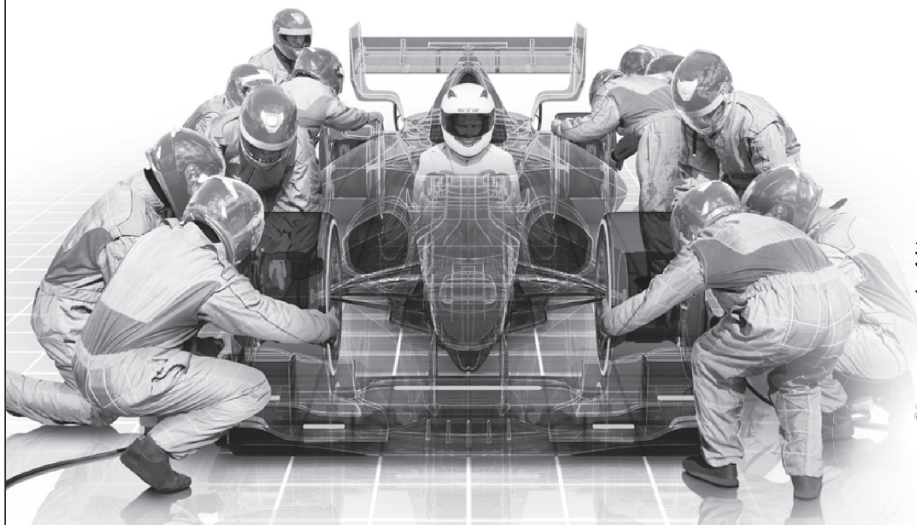
弊社ホームページの“医療関係者専用情報”サイトで  
SPECT検査について紹介しています。  
<http://www.nmp.co.jp>

®: 登録商標

2015年6月改訂



最高のチーム医療は、ここから始まる。



SYNAPSE VINCENTの  
WEBサイトはこちらから



迅速に、的確なゴールを目指して。  
チーム医療を新たな次元に導く3D解析技術



**REiLI**

Medical AI Technology



ボリュームアナライザー  
**SYNAPSE VINCENT**

販売名:富士画像診断ワークステーション FN-7941型 認証番号:22000BZX00238000

富士フイルム メディカル株式会社 〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士フイルム西麻布ビル tel.03-6419-8040 (代)

<http://fms.fujifilm.co.jp>

Powered by  
Edison

# IMAGES SO SHARP THEY CUT WAIT TIMES.

That's Intelligently Efficient.

より鮮明な画像を、より速く。

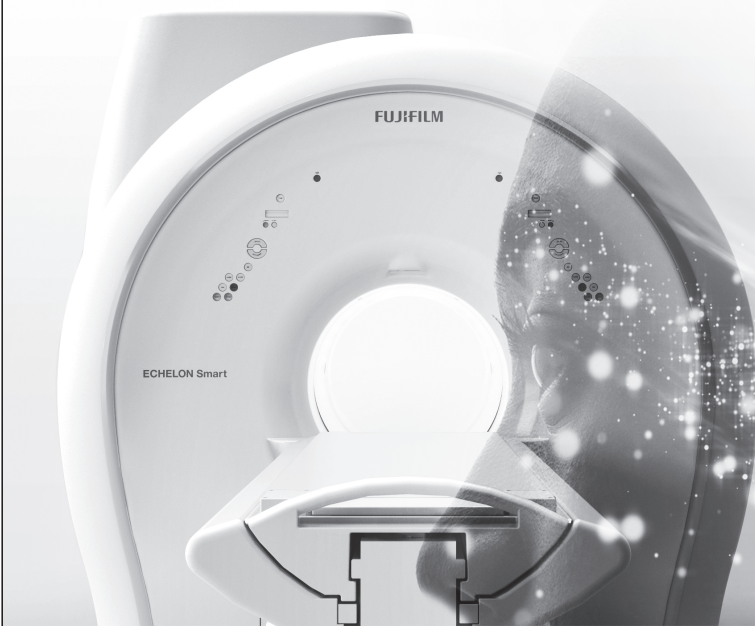


AIR™ Recon DLは、MR画像再構成にDeep Learning®を応用したGEヘルスケア最新のMRIテクノロジー。  
ノイズやアーチファクトの低減による鮮明な画像、検査時間の短縮による医療従事者の皆様や患者さんの負担軽減につながります。  
革新的なテクノロジーの実装を通じて、患者さんのニーズに寄り添い、最善を尽くします。  
詳しくは、[gehealthcare.co.jp](http://gehealthcare.co.jp)をご覧ください。

SIGNA Voyager (シグナ Voyager) 医療機器認証番号:228ACBZX00009000  
※Deep Learningは製品開発に用いられており、納入後に学習し続ける技術ではありません。  
JBO3625JA



**FUJIFILM**  
Value from Innovation



## Speedに「診やすさ」を、 操作に「ゆとり」をPlus

ECHELON Smart Plusの高速化ソリューション「IP-RAPID」は高速化技術の次世代のスタンダード。  
IP-RAPIDの進化とともに診やすさを追求したREALISE Plusを搭載。  
AI技術を活用したSynergyDrive※1が  
Speedに「診やすさ」を、操作に「ゆとり」をPlusして進化します。

SynergyDrive

powered by



### ECHELON Smart Plus

販売名：MRイメージング装置 ECHELON Smart  
医療機器認証番号：229ABBZX00028000

※1 SynergyDriveはワークフロー向上技術の総称です。AI技術のひとつであるMachine Learningを活用して開発した機能を含みます。導入後に自動的に装置の性能・精度が変化することはありません。  
富士フイルムは医療画像診断支援、医療現場のワークフロー支援、そして医療機器の保守サービスに活用できるAI技術の開発を進めこれらの領域で活用できるAI技術を「REILI(レイリ)」というブランド名称で展開しています。ECHELON Smartは富士フイルムヘルスケア株式会社の登録商標です。仕様及び外観は予告なく変更されることがあります。

**FUJIFILM**

富士フイルムヘルスケア株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂九丁目7番3号  
<https://www.fujifilm.com/thc>



## イオパミドール注[F]

非イオン性尿路・血管造影剤 イオパミドール注射液  
処方箋医薬品<sup>注)</sup> 薬価基準収載

イオパミドール150注[F]  
50mL/200mL

イオパミドール300注[F]  
20mL/50mL/100mL

イオパミドール370注[F]  
20mL/50mL/100mL

イオパミドール300注シリンジ[F]  
50mL/80mL/100mL/150mL

イオパミドール370注シリンジ[F]  
50mL/65mL/80mL/100mL



IOHEXOL

## イオヘキソール注[F]

非イオン性造影剤 イオヘキソール注射液  
処方箋医薬品<sup>注)</sup> 薬価基準収載

イオヘキソール300注[F]  
20mL/50mL/100mL

イオヘキソール350注[F]  
20mL/50mL/100mL

イオヘキソール240注シリンジ[F]  
100mL

イオヘキソール300注シリンジ[F]  
50mL/80mL/100mL/110mL/125mL/150mL

イオヘキソール350注シリンジ[F]  
70mL/100mL

注)：注意－医師等の処方箋により使用すること。

■効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等につきましては添付文書をご参照ください。

製造販売元  
(資料請求先)



**富士製薬工業株式会社**

〒939-3515 富山県富山市水橋辻ヶ堂1515番地  
<https://www.fujipharma.jp/>





# MS-LD GRID



中間物質に新素材(ファイバー)を採用した事で、従来のアルミグリッドと比較して約15%の線量低減を実現(撮影条件により異なります)



従来グリッド無しで撮影していた部位においてMS-LDグリッドを使用する事で、より鮮明な画像を実現



線量低減、耐久性向上を図るために被覆材をカーボンとし、更にグリッド保護を目的としてステンレス製フレーム(フル枠)またはキャップ型フレームを標準装備



株式会社三田屋製作所

〒350-0833 埼玉県川越市芳野台2-8-12 TEL: 049(298)8017(営業代表) FAX: 049-298(8016)  
ISO9001認証(JQA-QM4013) ISO13485認証(JQA-MD0026)

<http://www.mitaya.co.jp/>



放射性医薬品 / 悪性腫瘍診断薬・虚血性心疾患診断薬・てんかん診断薬 処方箋医薬品<sup>※</sup> 保険適用

## フルデオキシグルコース(<sup>18</sup>F)静注「FRI」

Fludeoxyglucose(<sup>18</sup>F) Injection FRI

放射性医薬品基準フルデオキシグルコース(<sup>18</sup>F)注射液 <sup>※</sup>注意-医師等の処方箋により使用すること。



製造販売元

**PDRファーマ株式会社**

文献請求先及び問い合わせ先

TEL 03-3538-3624

〒104-0031 東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビルディング

※「原則禁忌」、「効能又は効果」、「用法及び用量」、

「使用上の注意」等については電子添文をご参照ください。

2022年3月作成

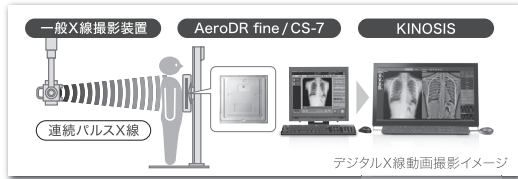


KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

# 単純X線撮影は、 動画撮影の領域へ

デジタルX線動画撮影システムは、X線動画解析ワークステーション「KINOSIS(キノシス)」、可搬型DR「AeroDR fine」、及び一般X線撮影装置\*1で構成され、パルスX線を連続照射し、コマ撮りした画像を連続表示することで、動画を作る、全く新しいシステムです。



## X線動画解析ワークステーション KINOSIS

[二次元コードから動画画像をご覧ください]



オリジナル  
動画像



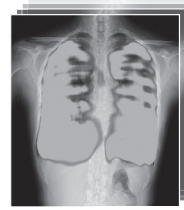
BS-MODE  
胸部骨減弱  
処理



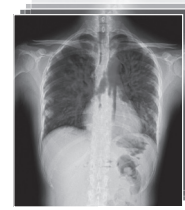
FE-MODE  
周波数強調  
処理



DM-MODE  
特定成分追跡  
処理



PL-MODE  
基準フレイム比  
計算処理



PH-MODE  
相互相関計算  
処理



\*1 一般X線撮影装置としては、(株)島津製作所「診断用X線装置 RADspeed Pro」を採用しています。★「X線動画解析ワークステーション KINOSIS」、及び「KINOSIS」は、「画像診断ワークステーション コニカミノルタ DI-X1」(製造販売認証番号:230ABBZX00092000)の呼称です。★「AeroDR fine」は、「デジタルラジオグラフィック SKR 3000」(製造販売認証番号:228ABBZX00115000)の呼称です。★記載の会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

製造販売元: コニカミノルタ株式会社    販売元: コニカミノルタ ジャパン株式会社    105-0023 東京都港区芝浦1-1-1    TEL (03)6324-1080(代)    <http://www.konicaminolta.jp/healthcare>

## 編集後記

今年の夏は政府からの行動制限のない夏として皆さまはどのようにお過ごしでしたか？夏前には第7波が大流行し、各都道府県で最多人数を更新し、全く落ち着く兆しがないまま8月となりました。

今回の第7波では私の身の回りの関係者でも感染、濃厚接触者などが多数発生しました。第6波までは身の回りの感染者はごくわずかで、感染したなどという話はほとんど聞くことはありませんでした。第7波では当院職員でも感染者が発生していることで、紹介状を持っていない初診患者さんの診療ができないなどの診療制限が行われています（HPより）。幸い私自身は感染していないと思われませんが、これまでより身の回りで多く発生しており、より注意が必要だと感じています。

夏休みでは、私自身も遠くに宿泊を伴う旅行は控え、近場で済ませることにしました。会誌が皆さまのお手元に届く頃には第7波も終息に向かっている事を願うばかりです。

今年も残すところあと2カ月ほどとなりますが、体調管理には十分気を付けて良いお年をお迎えください。  
(熊王)

## 埼玉放射線 第270号

印刷 2022年10月13日

発行日 2022年10月21日

発行所 〒331-0812  
さいたま市北区宮原町2-51-39  
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

Eメールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp

発行人 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会  
会長 田中 宏  
編集代表 清水 邦昭

編集委員 吉田 敦  
宮崎 雄二  
潮田 陽一  
肥沼 武司  
大友 哲也  
渡部 伸樹  
堀越 隆之  
八木沢英樹

印刷 〒130-0023  
東京都墨田区立川2丁目11番7号  
株式会社キタジマ  
電話 03 (3635) 4510

表紙の  
解説

### 「夕暮れの吉川市、中川水道橋」

写真提供 小林 靖雄氏



### 事務所

〒331-0812  
さいたま市北区宮原町2丁目51番39  
公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会

電話 048-664-2728

FAX 048-664-2733

Eメールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp

事務局長 結城朋子

事務員 戸澤 茜

勤務時間 9:00~12:00  
13:00~15:00



# 未来に寄り添うパートナー

## 健診から診療まで頼れる院外放射線科へ

忙しい毎日の診療から画像診断をおまかせください

### 胸部・胃部

胸部・胃部共に経験豊富な放射線科専門医、または各分野の専門医が診断にあたります。

### 眼底

専門医不足になりがちな部門についてもお任せください。

### MMG

乳がんは40～50代の女性がかかりやすいがんNo.1  
弊社医師はA・AS認定専門医のみです。

安心と安全を約束する  
確かなクオリティ

MEDICAL CREATE

### 心電図

多量の検査数にも対応し高精度な判定を専門医がいたします。

### CT/MRI

画像診断に特化した放射線科専門医が読影いたします。

### 超音波/内視鏡

内視鏡検査の判定も承っております。  
お気軽にご相談ください。



### 安心のセキュリティ

VPNによる閉鎖網でのネットワークで大切な個人情報を実際に守ります。  
患者様の個人情報を取り扱う上で、高いセキュリティが必要です。  
弊社では、都度サーバーに閲覧するシステムを構築しているため医療情報管理も安全です。

株式会社メディカルクリエート

■ 大宮本社

埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-403 ほていやビル3階  
TEL:048-782-7424 FAX:048-782-7425

■ 倉敷読影センター ■ 新宿読影センター

<http://www.saitama-medical-create.jp/>

▶▶▶ お気軽にご相談ください。





写真提供

「生田神社の鳥居」 吉田 敦氏



## 公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目51番39

TEL 048-664-2728

FAX 048-664-2733

HP <https://www.sart.jp> E-mail [sart@beige.ocn.ne.jp](mailto:sart@beige.ocn.ne.jp)

領布価格：1,000円（会誌購読料は会費に含まれる）

